# 京城日報

朝刊と合せて八頁

本紙定價 一部金二錢 一ヶ月金五拾錢（前金）六ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓 郵券代用二割增 ▲郵稅 一ヶ月拾錢

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 樫口政太郎 京城太平通一丁目

發行所 合資會社 京城日報社 電話 編輯 二四五番 營業 三二六番 龍山 一二一番 振替貯金口座 三〇〇番


## 列强大戰亂電報

### ▲土鐵道讓與と勃首相

勃加利首相ラドスラウオフ曰く一方協商國と交涉し他方獨墺と折衝する政府の奢略は反對派も同意する所なり土耳其の割讓せるデヾアガッチ鐵道沿線は直に我が支配下に置かるべく新國境はアドリアノーブルよりマリツア河の西二基米突スフリ町を經て同江岸に至る即ちマリツア河の流域なり勃加利は此割讓に由り將來の政治的義務を負はずと（紐育發）

### ▲黑人軍編成せられん

來週佛國議會再開し其際新たに七十萬の阿弗利加黑人軍編成法案提出さる可し同軍は來春戰線に立たしむる豫定なり（倫敦發）

### ▲露軍成功

南部の危急減ず

ガリシヤに於ける露軍の成功はキエフ及南部諸州に關する危惧の念著るしく減じたり獨軍がコウノを越えて進まんことは至難なる可しと思惟せらる獨軍の努力は次第にヨワル（芬蘭灣に臨めるエストランド州の海港）と露都とを聯ねる街路の方面に自ら集中せられつゝあり（露都發）

### ▲獨軍失敗

アルゴンヌの決戰

獨逸皇太子軍はアルゴンヌ（佛國戰線）の決戰に際し四十分時間に五十萬發の砲彈を費消せりされど獨軍の前進運動は悉く失敗に終り多大の損害を蒙れり（倫敦發）

### ▲夜襲猛烈

獨軍の公報

伯林公報に曰くスギテル地方の露軍は頑強なる抵抗を爲しヒンデンブルヒ將軍は猛烈なる夜襲によりてのみ漸く之を占領し得たれども其成功は不確實にして獨軍は同地村落に於て强襲を行ふのみの必要生せり（倫敦發）

### ◎轉收俘虜出發

福岡より習志野に轉收す可き獨逸俘虜の先發九十五名は十三日午前門司著同十時十五分下關發岡山名古屋間貨物列車に搭乘して出發したるが十五日午後五時二十五分東京驛著の豫定なり（門司特電）

### ◎三井石炭會議

三井物産會社門司支店にては十三日より一週間の豫定にて同社石炭部會議を開會したるが全國及び滿鮮其他物産會社全部の各支店石炭部員來會せり（門司特電）

### ◎山本氏等大分行

山本達雄、秦豐助、松田源治、諸氏の一行十三日朝門司通過大分に赴きたるが氏等は同縣政友會支部大會に列席す可し（門司特電）

東京發別電

### ◎御大禮參列員數

御大禮參列員は二千名に達すべし

### ◎駐米獨大使退去か

墺國大使の召還を要求せる米國政府は更に駐米獨逸大使の退去を命ずる事となるらん

## 雜報

### ◎總督釋奠參列

寺內總督は森、白井兩武官、大藤副官、池邉秘書官、藤波通譯官等を隨へ十三日午前九時より經學院に赴き秋季釋奠に參列の上同院に對し勅語謄本を交付したり

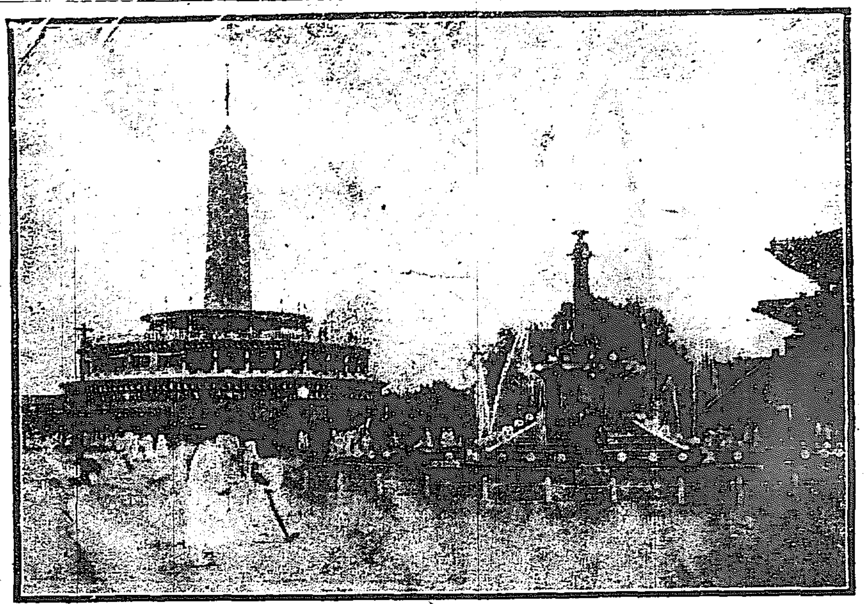
### ◎總督邸晩餐會

寺內總督は十三日午後七時三十分より入京中なる兵庫縣有志滿鮮觀光團服部知事一行を官邸に招待晩餐の饗應ありたり

## 朝鮮大共進會

### ▲審査部長會議

共進會審査部長會議は十三日午後二時より共進會事務所內會議室に開催、山縣審査長以下各部長參列し審査の方針其他に就きて凝議の上午後五時散會したり



共進會場光化門內噴水塔（左に見ゆるは慶會樓）

### ▲團體觀覽各所

各所より入京する團體觀覽者に對しては左の各著名の個所を相當の料金を徵し又は無料にて觀覽せしむることゝなりたるを以て觀覽希望の者は少なくも其前日迄に京城協贊會事務所に對し申込み一定の證票を受取るべし

▣昌德宮秘苑 自午前九時至午後二時觀覽料半減

▣美術品製作所（一日百名宛三回）午前九時—午後二時—同五時

▣總督府印刷所（一日五十名宛二回）水曜、土曜午前九時より午後一時より

▣總督府病院（病室、治療室等は其都度承認を求むること）

▣工業傳習所（入場時日に制限なし）

▣鐵道局龍山工場 九月十二日、同二十四日、十月一日、同三日、同十七日、同三十一日を除きたる外午後一時より三時迄

▣京城郵便局 十月一日より七日迄一日五十名限り午前九時より午後四時迄、十月八日より以後は一日二十五名宛二回午後二時より午後四時迄

▣京畿道恩賜授産場 人員制限なし官廳の執務時間內

▣東亞煙草會社 午後一時より四時迄

▣麻浦發電所 廣池商會、瓦斯製造所等人員時間制限なし

### ●軍艦の入港期と艦名

仁川港頭の大偉觀

大共進會の開會中大に斯の盛擧に光彩を添へんが爲め帝國軍艦の一隊仁川港に入港碇泊して一般の參觀を許す由は屢次報道したるが今其決定したるものを擧ぐれば如左

▲第二艦隊 來る十八日鹿島、周防、肥前、三笠の四艦及び驅逐艦八隻の艦隊仁川に入港し二十三日頃迄滯在の豫定なるが碇泊中は差支なき限り午前八時より午後四時迄一般に觀覽を許すべしと

▲千代田艦 も亦十月十四日頃仁川に入港の豫定にて約二週間碇泊し前同樣一般に觀覽を許すべしと

▲宮殿下御召艦 赤十字社朝鮮總會に台臨あらせらるゝ閑院宮兩殿下の御召艦常盤及び供奉艦日進の兩艦は二十八日仁川に入港し三四日間碇泊の豫定にて是亦差支なき限り公衆に縱覽を許すべしと

### 觀覽團消息

▲門司觀覽團（團員十名主催）十六日午前六時廿分南大門著一行五十名

▲料理屋組合團體 內地側より出席するもの八十名は京城にて開會の第三回同盟大會への先發隊として十五日午前八時南大門著

▲東京有志觀光團 二十九日頃南大門著

▲新聞記者團 廿三日南大門著入京一行百五十名

▲熊本觀覽團 十月二日入京一行二十五人

▲日向都城觀覽團 十月四日入京

▲同都城通信社觀覽團 十月八日入京十一日出發一行百名

▲水原農林學校生徒 十五名十三日觀覽

▲海州郡觀覽團 廿三人は十三日當市記に引率せられて入京安國旅館投宿（滯在三日間）

▲延白郡觀覽團 百二十人は十三日尹郡記に引率せられて入京安國旅館投宿（滯在三日）

▲忠州郡觀覽團 九十九人は十三日正村郡記に引率せられて上京忠北指定勸商旅館に投宿（滯在三日間）

### ■共進會入場者

▽十二日晝夜▽

| | |
|---|---|
| 晝間 | 一萬一千三百七人 |
| 一、內地人 | 五千六百九十九人 |
| 一、朝鮮人 | 五千五百四人 |
| 夜間 | 七千四百六十一人 |
| 一、內地人 | 三千四十六人 |
| 一、朝鮮人 | 四千四百十四人 |
| 一、支那人 | 八十八人 |
| 一、外國人 | 十七人 |
| 合計 | 一萬八千七百六十八人 |

▲平壤府第一回觀覽團 男子六十名女子四十二名は十三日團長松岡貞氏に引率せられて上京太華館に投宿（滯在三日間）

▲驪州郡觀覽團 百五十名は十三日下仁水族館を觀覽し其餘は解散せり

▲加平郡觀覽團 約五百名は十一日入京滯在中

▲燕岐郡團體 八十七名十三日入京

▲京義線新幕 小學校職員生徒父兄共三十六名入京いろは旅館に投宿

▲始興郡觀覽團 二百七十名十三日入京

▲全南咸平郡觀覽團 十三日入京

### 人事消息

▲商橋克親氏（起業會社重役）十二日午後內地より釜山着

▲大塚常三郎氏（地方局第一課長）十三日歸任

▲三井長榮氏（農務課技師）別府に靜養中の處十三日夜歸任の筈

▲時乘鶴松氏（砲兵大尉）十二日內地より釜山着北行

### 南言北語

伯林ではヒンデンブルグ、デーをやつて盛んに跋將軍に敬意を表して居る▲其れも可からうが波蘭の獨軍は何うも元氣がチト抜けたらしい▲イヤ獨軍が弱つたのではないチリ〳〵弱い露軍が本性をソロ〳〵發揮しかけたからだ、殊に最近ツアール自身が三軍を叱咤して居るから勢も能くなつた譯だ▲斯うなつて來ると性急のカイゼルは最うイラ〳〵しだすに違ひない▲サアヤレ〳〵と櫛の歯をひく樣な活動命令は各所に飛ぶのだ▲白佛戰では獨皇太子軍はアルゴンヌで大苦戰をやつて四十分間に五十萬發の巨彈を送つたけれど打ち損だつたらしい▲割合成効したのは獨逸飛英飛行隊で倫敦市の中央の空から盛に爆彈を投下した▲之れに對してアに其れ位の事でビクツク樣な倫敦ッ子ぢやないと英人は威張つて居る▲故星亨が東京市會で伊庭に刺された時某市會議員が泰然腰を脱かした事があつたが英國人も泰然腰では小々危ない▲英國飛行隊も一歩を進めて伯林のウンターデンリンデンの街上から大きな奴を見舞つてやるが好い▲佛蘭西では亞弗利加の黑奴を七十萬傭つて來て戰線に出す相な▲此のニーグロ軍が白人軍と嚙み合ふ處は面白い圖が出來るのだらう▲平生から白人種なんて威張つて居ても情ないではないか黑奴の力を拜借するなんて戰爭が小供の喧嘩見たいなのも當り前だ▲併し白人が黑人に支配されるなんて氣の毒な樣な愉快な樣な氣もする▲朝鮮と云へば內地の人は氣候なども惡い老人などはとても長壽は思ひもよらぬ樣に思つて居る者も多い樣だが憚り乍ら當地は內地よりもズッと好い處がある▲慶南では百歲以上の長壽者が二十四名もある八十歲以上などは三千九十歲以上は三百之れにはチト驚いたらう▲慶南と云へば晉州には昔しから鬪牛の戯と云ふのがある、鳥渡西班牙の鬪牛に似たものだ、今度此の壯觀を京城で見せやうと二十頭の鬪牛が堂々と晉州を出發したげな。


九月五日 日本少年 秋季增刊 冒險小說號

七大長篇冒險小說

▲冒險小說 軍港の深夜…有本芳水
▲冒險小說 毒蛇の女王…松山思水
▲冒險小說 水中の兇漢…瀧澤素水
▲冒險小說 地獄池…高信峽水
▲冒險小說 火中の少年…橋戶頑鐵
▲冒險小說 包圍線…藤井白雲
▲冒險小說 變裝少年…矢口達
▲懸賞募集 冒險物語…數十篇

定價拾錢 郵稅一錢 半年七冊七十三錢一年十四冊一圓四十錢（共稅）

東京京橋區南鍋町 實業之日本社 振替口座三三六六番

朝鮮總督府遞信局編纂

最新版 大正四年度 遞信地圖

石版三色刷竪五尺幅二尺六寸 袋入定價金八拾五錢（送料四錢） 上製軸掛一圓三拾錢（送料十五錢）

官報府告 所載の本圖は最近の調査により里程日程交通機關等各詳細記しあり殊に總督府官報府告を以て各官所の旅費算出は九月一日より本圖を用ふる事に發表せらる

發兌 京城 斯道館 振替京城二八四番 電話京一〇一七番

取扱所 日韓書房 大阪屋書店

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候 京城日報社 寫眞製版部

理想的讀書機の出現

庄島式讀書機 組立簡易箱入 携帶便利伸縮 自在座臥兩用 譜見臺及氷囊用 約兼用にし各病 讀書家に好評あり 院本機の金屬製は 永久機特使用に堪ゆ 定價六圓並製參圓半 上四圓壹圓 木製 ▲特約店 東京市神田區榮町四番地 特約販賣店 京城大阪屋號書店本支店 希望者は郵券六錢を要す

發賣元 開明社 振替東京三〇九一〇番 電話下五四四二

大田溫泉

南鮮唯一の靈泉だと稱せらる大田溫泉は開業茲に一年浴室は申すに及ばず旅館の設備殆ど完全し浴客日々數を增し面目一新致し候交通至て便大田驛を去る僅かに二里道路平坦砥の如くに候（人力車往復壹圓 自動車同八拾錢）風景夏に宜しく西に忠南の名岳鷄龍山あり山中名刹東鶴寺甲寺あり溫泉を去る一里餘東錦江支流に臨み消夏好適の地に候何卒大方の諸彥御一遊の榮を仰度候

大田溫泉株式會社

荒井支店 京城本町二丁目 電話二八八七番

釜山 本店 荒井旅館 電話七四三番

資本金 壹百萬圓
政府貸下金 三十二萬九千二百圓
農工債券發行高 百參拾萬圓
銀行長 白完爀
支配人 遠山熙

株式會社 漢湖農工銀行 京城南大門通二丁目 電話（四）五二四番（五）五二七番（五）五二五番

支店 開城、春川、江景、太田、公州、鐵原、清州、忠州、論山

當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

各種石鹸製造 曹達灰販賣 洗濯曹達 生田組 京城元町一丁目 仁川松阪町二丁目

水族館の開催を祝して 會席御料理 御一人前 金五拾錢 仁川仲町三丁目 柳家 電話一二九番

眼科專門 京城本町六丁目（元軍司令部通り） 金井眼科醫院 電話一五五六番 院長 金井豊七

# 清境の秋蕭かに大聖を祭る
## 古典的空氣の漲つた經學院の釋奠
### 寺內總督臨場添香の禮を行ふ

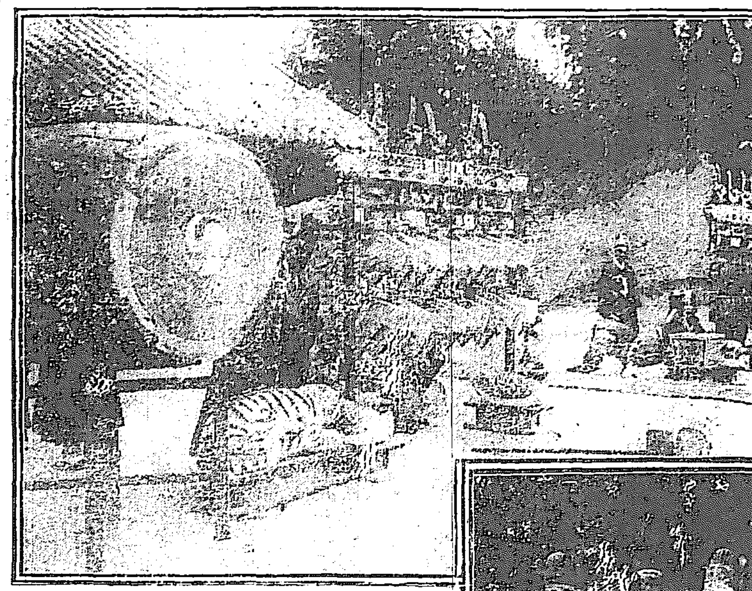
大聖孔子を祭る秋の釋奠は十三日午前九時より東小門內經學院に於ていとも莊嚴に執行された、此日秋旻やゝ曇りなりと雖も靜かなる丹靑の殿舍を廻らせる文廟の庭には老樹の鬱蒼たる間に

■大篝火を燃やし鐘、雷鼓、晉鼓、大鼓、七絃琴等の奏樂靜かなる庭に流るれば大成殿下の苔むせる庭には紅色の周衣着けたる人々六佾の舞を作し殿上殿下に立ち並びたる衣冠石帶の人々は宛然古きむかしの繪卷物を觀るが如く、先づ祭壇正位には犧の犧牲を供へ周圍二十の名賢を祭れる前には燭燭々として供物を盛れる銅器の鼎に映じる、斯て式の進むと共に初獻官大提學朴齊純子は殿下の位洗盥にて手を盥ひ黑冠石帶の古雅なる服裝にて階段を上れば庭の四隅に蹲踞せる樂人は登歌及び凝安之樂を奏し

■紅衣の人は文烈文之舞を作し境內古典的氣分に滿ち充ちて美觀云ふ可らず、かゝる裡に獻官は韜笏神位前に跪坐し香を焼き幣を奠め祝文を朗讀す、而いて樂止み獻官再位地に復せば再び登歌及び成安之樂起りて六佾の人々再び烈文之舞を行ふ、獻官は再び壇に上りて酒を容れたる銅器の畫爵より杓をもて銅製の樽に滿酒を酌み之れを神位前に奉りて跪坐す、斯くて奏樂裡に殿上より降れば次の亞獻官副提學李容植子起ちて再び同樣の式を行ひ終に終獻官副提學朴齊斌男亦同樣の式を行ふ斯くて

■亞獻の禮を終れば次は飮福禮に移り朴初獻官三度殿に上り爵をもちつゝ靜かに跪坐して神前に供へたる酒を飮み猶ほ執事より俎を受けて再び執事に授く斯くて神位前釋奠の儀式を了れば寺內總督は祭壇に進みて添香の禮を行ひ檜垣道長官、宇佐美長官、關屋局長、白井、森兩武官等それに倣ひ亞いで獻官等四拜の禮を行ふ、續いて又草色の緋に黑冠石帶せる十數人の諸士を始め白衣黑冠の儒生の參拜あり斯くて

■奏樂裡に神位前の籩豆を撤し初獻官燎位に詣りて祝と幣を燎き式全く畢る、猶ほ秋閑かなる文廟後庭明倫堂にては式後大提學子爵朴齊純子、副提學子爵李容植子、總督府中村技師の講演ありて當日參拜せる京城中學校生徒、京城普通學校生徒の聽講ありたり猶ほ此の古典的の消えなる釋奠の儀式は曾て京城駐劄の清國公使今の中華民國大總統袁世凱氏へ東洋唯一のものなりとて式に參列せんを乞ひて許されざりしが猶に八佾の舞の如きは聖地山東の曲阜は知らず朝鮮を除きて他に見る能はざるものなりといふ



經學院釋奠祭

# 十三道陳列競べ
## □朝鮮一の黄色煙草
### 忠淸北道出品名產の數々

京畿道と相對して忠淸北道と札の掛つた一區劃に入つて直ぐに眼につくのは正面の壁に掛けられた等身大の仁王尊一組の繪である、淸州から十里、金剛山々脈に續く俗離山、大法住寺の天王門に現存する四體の仁王尊を寫したものだ、本物は高さ廿八尺餘の

▽大像で あるとのを、全體を見た所陳列法も統計表も成る可く單純に誰にも解り易く、と心掛けたらしいのが嬉しい、文字も數字も筋太に說明も簡單に、四十三年以來五個年間の進步狀態を各施設事項每に、各數字、寫眞と、貨物と模型で現して居る、中にも最も興味深いものは東側の入口の壁に貼られた細民の食料にする草藥、草根の標本である昔から春二三月頃より麥の收穫までの窮乏時期を細民は之れ等の草を茹でゝ食つたのであるが本年は昨年の

▽豊作で 殆んどその跡を絶つたとはお芽出度こと、仁王尊の前には圓形の二つの臺が電氣仕掛で廻轉して居る、一方の臺上には勤儉貯蓄の美風に化した當今の住民の生活活動の樣を、一方の臺上には遊惰放逸の昔時の鮮人生活を小さい人形や家や家畜の凡てで現してある、又中央の臺上には五尺三寸大の鮮人の人形が兩手に玉を持つて立つてゐる、その玉の大きさと玉に記された數字で道の生產額を五年前と今日と

▽比較して見せる趣向である即ち五年前には忠北全體の生產額が五百三十萬圓であつたのが大正三年度では千四百七十三萬圓に昇つて居る、その他忠北自慢の陸地綿は綿摘みから糸に爲るまでの順序を朝鮮一と稱する黄色煙草は舊來のと並べて又鳥致院名物の木道細工は學校生徒の作品ながら市中に見る柳細工や藤細工に劣らぬ手際を示して陳列されて居る、最後に淸州郡から出る天然炭酸水は中央試驗所の試驗で東洋一の名を得、寺內總督も愛飮して居られるといふ、それと年二百五十萬斤の採掘高を有する滑石は忠北道の將來のみか朝鮮產業の前途多望を語つて餘りあるものだ、

# 聖旨優渥
## 故乃木將軍の靈
### 地下に感泣せん

故乃木大將が明治天皇に殉死し奉り大將夫人靜子亦大將に殉死し共に悲慘なる最後を遂げてより爾來年を閲すること茲に滿三年乃木伯爵家は華族令の規定に基き當然斷絕の運命に遭遇したるに畏くも聖恩海の如く此貴むべき乃木家再興の恩命此思出の日を以て出でたり此名譽ある伯爵家の相續者は大將の舊主にして乃木家と最も所緣厚き舊長州豐浦藩の當主子爵毛利元雄氏の令弟元智氏（三才）にして元智氏は十三日午前宮內省に出頭し其恩命に浴せり（東京特電）

# 大典の日
## 諸官衙學校休業

來る十一月十日の御卽位式十四日の大嘗祭十六日の大饗宴第一日は國民的大典たるを以て當然大祭日同樣各官衙學校は休業となり其他國民一般は同じく此大祭典を奉祝すべしと

# 櫛の齒をひくやうに
## 新しく出陳された珍品が澤山
### 家庭博覽會愛讀者優待日の第一日

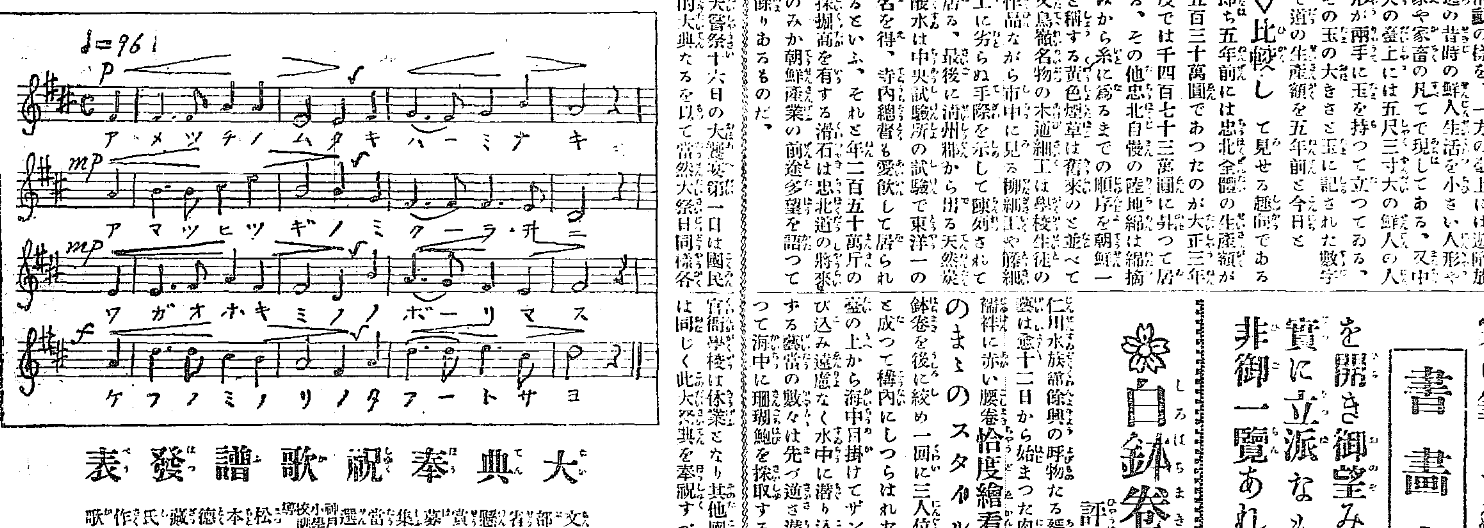
共進會に亞いで多大の興味を以て迎へられつゝある家庭博覽會は追々日の經つに從つて設備が完全になつて來ます、參考陳列品の外にミシン使用法の實演などがあります、

▲裁縫品の陳列同じく、ミシン特別陳列室の家庭に於ける擽器械陳列室には入場者のうちに不時の病氣でも生じた場合應急の手當を爲すべく醫師市原壽涌氏が詰めて居ります、それから十二日から開かれた會場內の書畫展覽會の陳列は全く終つて五號館三號館には東京京都諸名流の大家の筆になる書畫が百餘幅あります、兎に角だん／＼秩序が立つてくると共にいろ／＼の催しがある筈でムいます、十三日は愛讀者の無料入場を希ふ第一日であつたので午前九時開館されると同時に家族を連れ立つた方々が櫛の齒をひく樣に續々詰めかけて場內は忽ち非常な

▲雜踏を見る樣になりました殊に此の日は朝鮮の方も大分あつて平素內房に籠つて餘り外出されたことのない朝鮮上中流の夫人——其中には李完用伯夫人其他の貴族實業家の夫人も大分ありました——が多く何しろ明ら樣に曝け出された日本の家庭が一堂に見られるといふ點に興味を持つたから深窓に籠つて一步も外に出た事のない樣な

▲朝鮮の若い娘さんまでがお母樣だのお父樣だのと共に連れ立つて見えられたのは實に愉快でありました、內地人の方も御婦人の入場が最も多く上中下の各階級を通じて多數にお出でになり、中にも下女を連れた

▲奧樣の如きは『餘り混んで悠り見られないから今日はザツと見て置いて又出直して來よう』などと言はれる熱心さ、それでも女中室、子供室、臺所などは人垣が次ぎから次ぎへと造られてゆく位で非常な盛況でありました




## 大典奉祝歌譜發表

文部省懸賞募集當選　神戸小學校訓導　松本德藏氏作歌

一國を擧げて高らかに誦せよ此祝歌を

# 白鉢卷で海中深く……
## 評判の仁川水族館蜑女の曲藝

仁川水族館餘興の呼物たる蜑女の曲藝は愈十二日から始まつた肉付きの福袢に赤い腰卷恰度繪看板そのまゝのスタイルで白鉢卷を後に絞め一回に三人位宛一組と成つて構內にしつらはれた高い舞臺の上から海中目掛けてザンブと飛び込み遠慮なく水中に潛り込んで演ずる藝當の數々は先づ逆さ潛りとあつて海中に珊瑚鮑を採取する狀況から浦島太郎が龜に乘つて龍宮入の光景または大井川の河渡し、さては頭上に摺鉢を載せた一人の蜑が海中に立つてる他の延に乘せられ海中を步き廻る曲藝、さては觀客の煙管、メタル指環又は銀貨銅貨なんどを投ずれば忽ち海中に眞逆さまに潛り込んで拾ひ揚ぐる光景はさながらシンガポール邊で汽船の上から銀貨を投ずれば海底深く潛り込んで咬へて上つて來る黑ん坊の手練そのまゝのやうに面白く見せる此の一行は大阪千日前の男女聯合諸藝武術大會の會主三木某の率ゆる十三名であつて館內第一の呼び物である

## ●新町遊廓の踊舞臺

共進會と共に新町遊廓の人氣は素晴らしいものであるが町內ではあらゆる市街裝飾を試むるは勿論今度は中央第一棧傍に本舞臺の建物まで建築し每夜素人芝居を開演する由

榮錦商店
本椿香油　金牌受領
髮を黑く長くつやを出しさら／＼として髮の脫を防ぐ事妙

本場　ちゞみ銘仙　新荷着
京城本町二　ちよぶや　電話八九〇番　振替三〇二番

家庭博覽會
人形の陳列、設備裝飾、庭園遊戲場等いよ／＼出來上りました
場內にて今日より東京第一流諸大家の筆になれる
書畫大展覽會
を開き御望みに任せて卽賣します
實に立派なもの澤山あります
是非御一覽あれ

防水布雨着
●自轉車乘用乘馬用マント　●鑛山用漁業用荷車用雨具　●紳士用オーバ形鳶形雨衣　（御申越次第新見本送呈）
ゴム引防水布問屋　福田豐三郎商店
東京市京橋區南紺屋町九番地　電話京橋三七九三　振替東京八〇四五
寫眞器材料商　長崎屋商店　京城明治町二丁目　電話二二二〇番

くすりは山岸
諸官衙御用達　洋藥　賣藥　卸問屋　醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町丁目郵便局前　山岸天佑堂　藥品部　器械部　電話
振替貯金口座京城二〇三

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金廿二萬參千八百圓
株式會社　朝鮮商業銀行　京城南大門通一丁目
電話五五八番　六八一番　振替京城一六三四番
一般銀行業　倉庫業
銀行長　趙鎭泰
支配人　豐田明敬
南大門支店　電話五四四番　一七〇二番　振替二五八二番
本町支店　電話二一九四番
仁川支店　電話八四九番　振替一〇六二番
平澤支店　振替一六〇六番

サクラ正宗
比較は最良の選擇法なり？
サクラ正宗
京城明治町一丁目　山邑京城支店
電話八四九番　振替京城五七番

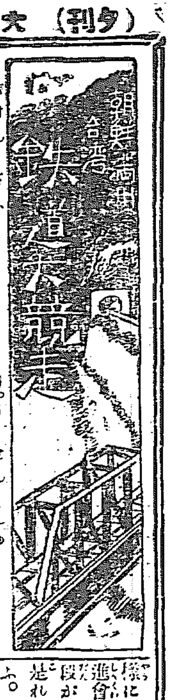
髙田仲買店
株式會社仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町　電話長一〇〇番　電略タツ

週報
○本邦稻作被害

去る八日本邦西部を襲ひたる颶風は案外輕少なりと傳へられたるも其後被害調査の進捗に伴れ其損少からざるに鑒みたる期米市場は一齊に十三圓五十四錢と安値より百二十餘丁の大反撥を演じ波瀾重疊なる天災相場を實現致し居り候而して右被害程度に就ては二百萬石內外減收との說なるも最近或筋に到着したる情報に依れば九州六分、四國、岡山廣島、山口七分、鳥取、島根三割即ち百六十萬石は下らざる模樣に御座候果して然らば今后幸にして天候順を得るとするも既に第一回豫想に對し約二分七厘强の減收は免れざるべく旁々茲彼岸前后に至る天候は最も注意を必要と存候

柔道部御用達
手刺專門
改良柔道衣
刺子問屋　柔道衣製作所
東京府下巢鴨村二〇五〇　酒井一朗
振替口座二三〇二番　電略（二）又八（ロオ）

……移出千〇七十六萬圓輸移入八百四十三萬圓合計千九百十九萬圓にして之を前年同期に比し輸移出に於て三百……るにより輸移出貿易に未曾有の盛……豆類、繭及び牛皮の輸移出激增したる……輸移入超過を示したりしも……したり爲に常港本年自一月至八月貿……の取引のみに止むるに至りたる……試みたるものも只必要に迫れる……




# 健在なれ兩選手

別府南行選手

▲水族館を鳥渡 十二日午後五時京元線より龍山で仁川行急行の一等に乘替へるを速力の快感、車室の盛裝甚だ心地がよい沿線の風物又漸次雨霽より平和郊に出て來た趣きがある夕餐の靜かに立昇る屋背の背景となつた低い連山の緒茶けたのが殊に眼に入る仁川に著いた時夕飯が一番に海にも陸にも渡つてゐた四十分間を忙しく利用して新築の商品陳列館に装飾された華やかな市中と協贊會の特設に係る水族館を瞥見し尚水族館では水底に道入りし心地で本館を一覽珍らしいのは海鰻で綺麗なのは金魚だ其他見るべきものが少くない十二日の入場者は約八百名計りとの事であつた余は午後七時仁川發太田に向ふ（十二日午後仁川發電）

▲湖南線へ 湖南線の分岐點と云ふだけでは大田は發築の基礎が薄弱だ昨今京釜線改修工事等の爲め何程か市況に活氣を見るも之れは先きの見えた好調子である太田市民が聯隊本部の設置問題に力を注ぐのは其の自衞上止むを得ざる措置であらう僕は此の太田に十三日夜半新然旅人として入り一泊の上十四日午前六時前に冷やゝかな朝風を受けつゝ霧を破つて進む湖南線の列車で正に群山木浦に向はんとしてゐる疲れはないが多少眠い（十四日朝太田驛發電）

神崎北行選手

▲眞ッ黒い鼻の穴 京元線は朝鮮鐵道中一番の難所である、洗浦劍拂浪間の標高二千餘尺と云ふは朝鮮既成鐵道中の最高箇所である。龍山元山間に隧道が十六ある其中の九箇所は洗浦三防間にあるのだ。『ピーッ』と汽笛を鳴らして進いては入り込む隧道が皆ホンの短いもの許りである、出ては入り、出ては入りする其度に吹き鳴らす汽笛が折柄の四邊の突兀巍峨たる山容と相呼應して笛音の音も凄味を帶びる。罪で政務總監に隨つて春川に行つた歸り雨中を突破した自動車の旅を偲んだ京元線の旅に雨が添へられると風情を增す、と思つたりする。十六の隧道を出たり入つたりして眞ッ黒にした鼻の穴を穿つてる間に汽車は龍山に來てしまつた。京元線の列車が龍山に著くと三分して京仁線の列車が出る事になつてる。其際どい時間を、豚の樣な二人が豕の樣に乘り替へてホッとすると、冗談ぢやない眼が黑くなつてる。何でも機關手君は鐵道競走の選手が乘つてろのだから殊に兩選手が一時に乘つてるんだからと云ふので非常な敬意を表してくれて一分も遲らさない樣に努めてゐたのだと云ふ、早發はいけないけど早著なら構はない。そこに機關手君の苦心がある。いつもの事だが今日も元山から三防、高山あたり迄には十分餘り遲れたのを下りになつてから美事取り返してしまつた。そして龍山に著いた時には數分間の餘裕を生じ我々の計畫を遂行させてくれたのだ。併せ機關手君に感謝する次第である（十二日午後京釜線龍山驛發）

協贊會演藝館の妓生舞踊

▲夕靄の水族館 仁川に著くと支局の長岡君が來てるすぐに其案內で水族館に俥を飛ばす海岸通りを行くと早や四邊に低く黃昏色が漂つてる。其薄靄に浮く樣に水族館のイルミネーションが燦いてる。もう三十分で閉館すると云ふ處だ。昨日は一千人、今日は七百人の入場者だと云ふ。其七百人の殘りのいくらかがまだバラ〳〵に見物してる棚を縫つて一巡する式は淺草の水族館式で顏に硝子を透かして見える樣になつてる。昨年の秋釜山での共進會に附隨したものに比すれば遙に段がちがふ、論ずる迄もなく夫れと是れとは問題が異ふけど鳥渡さう思ふ。兎に角京城から見に行く人も多からう又行く價値があると思ふ。

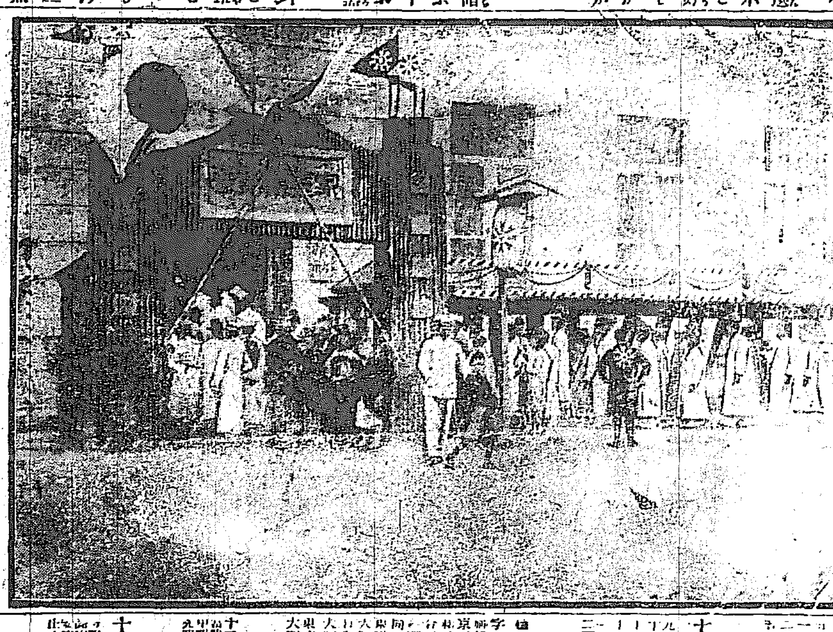
一時したアジカよ さらば

さう云ひたい氣分を抱いて俥を市中に驅る。市中は球燈、軒燈、花飾りでお祭りよりも美しい。穴門通りから本町に出て中町を通つて停車場に引返す、第三の證明が終る。ほんの一時であるが仁川の市民は衷心から協贊の實を擧げるに努めてゐる事が明かだ。黃昏の色が次第に濃くなり增さる車中は安藤參事の家族と一緖になる。日曜を幸ひ水族館見物に行つた歸りだと云ふ『龍宮と云ふよい所』と一緖に歌ひ乍ら汽車に乘りつる（十二日午後六時三十分仁川發）

▲さらばよ敵手 『さらばよ我が好敵手、願くば健在なれ』今永登浦で二日路を共にした南行選手に分れようとしてゐる只行かずに不圖伴なつた旅人同志でさへも分れとなれば離愁はあるまして選ばれた好敵手である、是れから別行動に出でようとしてゐるのである、豈思ひきからんやの感に堪へぬ。『さらばよ我が好敵手、願くば健なれ』（十二日午後七時十分頃永登浦發）

▲大變！大變！ 午前四時十四分と云へば未だ眞つ暗だ大トランクと毛布包みを兩手にぶら下げて平壤停車場のプラットホームを歩いて居ると、オイ〳〵と呼ぶものがある支局の中丸君だ連れの黑田君と一緖に自動車で宿に行く、寒い！丕で冬の樣だ火鉢がほしい位に寒い、飯を食つて今度は人車で停車場に行く、自動車と人車の對照も面白い、著と直にピーと云ふけたゝましい汽笛『ヤッ遲れた』と中丸君が驅け出す僕も驅け付けると改札は扉を閉て『既う不可ない』と止める『何大丈夫』『不可ない〳〵』と云ふのを無理やりに『之れに乘り遲れて溜るものか』と▲柵を飛び越ゑて動いて居る列車に飛び乘る中丸君は無論乘れない、やれ〳〵と思うて見ると客車が一輛ほか無い、おや〳〵チト變だぞと能く〳〵聞て見ると黃州行だと云ふ『何ッ黃州行!!失策!!』と飛び下りようかとも思つたがもう速力がとても飛べ相にもなく疾い『嗚呼、休ぬる哉』ドッカリと腰を卸して扨て何うせう。先時間割を調べて十一時二十五分發南浦行で行つて直に引ッ返すとして時間が八分ある『八分ッ』京元線と、京仁線との龍山接續は僕が三分を競つた機關手君の特別の好意で見事に通たが此處は云ば敵の根據地だ（別府君は平壤に居るから）其處でまごついて失策りしては敵に後を見せるも同然な譯としては

▲顧る遺憾に堪へぬ 何せう、鎭南浦を拔いて安全な道を通らうか、さうすれば又た歸りに鎭南浦迄行かなければならぬ右か左か後か前か、思へば思へば能くも揃つたものだ、中丸君も僕も有名な近視眼だ時間表を見そこなつたかと思ふと可笑い、獨りで吹き出したい程だ而し笑ひ事ではないうつかりしてると花嫁に對してもつまらない（十三日午前九時京義線中和驛發電）



驪州親睦團の家庭博見物（本社特設場入口）

七十棉と云ひ尙ほ荏實、皮牛等減少を來せり而して米價は七月末以來一上一下多少の變動ありしも兎角弱氣味にありて八月遂に石五十錢方の下落を見るに至れり白米は石十圓五十錢糯四圓小豆の如きは實に石參圓方の暴落をなし八圓五十錢を示せり大麥二圓八十錢小麥六圓大豆六圓の相場にして味噌醬油の原料として需要期に近きしに拘らず依然不騰の氣合なく牛皮五十五圓マッチ四圓六十錢と云ふ強氣あるの外麥粉二圓九十五錢石油三圓八十六錢砂糖十二圓七十五錢葉貨二十六圓明太二十一圓內外の相場を持續し居れり

◎慶山穀物市場 先月以來天候の關係上內地期米騰貴したると一方作の豫想は一時米價を騰貴せしめたるも天候快復と共に人氣一新米價は舊態に復しつゝあり多數迴米を見ると夏枯期で不振は一般商況に沈靜を來たし取引閑散となりたり僅かに冬物金巾絹糸の取引行はるゝのみ最近市場相場は粳四圓八十錢玄米九圓大麥三圓五十錢

◎全州最近物貨 農繁期を過ぎ物產共進會も近きたることゝて市場の出入頗に增加し商況稍々活氣を帶び來りたるが如きも貨物の如きは却て不振の境に沈淪し食鹽、金巾、陶器、磁器並に鮮鹽、干魚は約一割乃至三割方減少し麥酒、淸涼水の如きは三割方の減少を見其移出に於ける八月中の米穀額約九千俵の商を示めし七月に比し千五百俵を增加し繩叺の二百梱味噌醬油酒類百……小麥五圓七十錢大豆五圓七十錢牛皮六十圓前後を往來しつゝあり

◎學校建築費金認可 慶北尙州學校組合にては過日組合會議開會の結果小學校建築の目的を以て大正五年度より同十四年度に至る十箇年間の歲計決算剩餘金の全部又は一部を積立て是に充つ可く又基本財產增成の件決議し認可申請中の處此二件共去る十日附を以て認可の指令に接せり

# 商況

東京株式特電

| | 十三日前場寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 日本郵船 | 八八、三〇 | 八八、五〇 |
| 東株新株 | …… | …… |
| 鐘紡 | 一一七、七〇 | 一一七、七〇 |
| 日上新株 | 九三、〇〇 | …… |
| 大日本麥酒 | …… | …… |
| 東株第一 | 一五〇、二〇 | 一五〇、二〇 |
| 東株第二 | 一五〇、八〇 | 一五〇、七〇 |
| 東新第一 | 一二四、七〇 | 一二四、四〇 |
| 東新第二 | 一二四、九〇 | 一二四、七〇 |

東京期米特電

| | 十三日前場寄付 | 前日との比較 |
|---|---|---|
| 當限 | 一三、九〇 | …… |
| 中限 | 一三、九四 | …… |
| 先限 | 一三、七五 | …… |
| | 一三、七五 | …… |

東京債券現物特電

| | 十三日出來値段 | 前日との比較 |
|---|---|---|
| 五分利 | …… | …… |
| 四分利 | …… | …… |
| 甲號 | …… | …… |
| 整理 | …… | …… |

深川正米特電

| 十三日 | | |
|---|---|---|
| 伊勢米 | 四六、〇〇 | 三 |
| 常陸米 | 五二、〇〇 | 三 |
| 越後米 | 一八四五、四八 | 三 |

東京公債直取引

| | 十三日出來値段 | 前日との比較 |
|---|---|---|
| 五分利特號 | 九五、一〇 | …… |
| 四分利 | 七九、八〇 | …… |
| 甲號四分 | …… | …… |
| 乙號四分 | 九四、〇〇 | …… |

大阪三品特電

| 十三日前場 | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 九月限 | 一〇八、九〇 | 一〇八、七〇 |
| 十月限 | 一〇九、六〇 | 一〇九、三〇 |
| 十一月限 | 一一〇、六〇 | 一一〇、五〇 |
| 十二月限 | 一一三、〇〇 | 一一二、二〇 |
| 一月限 | 一一四、九〇 | 一一四、三〇 |

大阪株式特電

| | 十三日前場止値 | 前日後場止値 |
|---|---|---|
| 宇治川水電 | 四〇 | …… |
| 大阪電燈 | …… | …… |
| 東京電燈 | …… | …… |
| 大阪商船 | …… | …… |
| 日本郵船 | …… | …… |
| 大阪新株 | …… | …… |
| 東京新株 | …… | …… |

大阪期米特電

| 十三日前場 | | |
|---|---|---|
| 當限 | 二、四〇 | …… |
| 中限 | 二、九〇 | …… |
| 先限 | 三、一〇 | …… |

下關期米特電（作柄減收・暴落）

| 十三日前場 | | |
|---|---|---|
| 當限 | …… | …… |
| 中限 | …… | …… |
| 先限 | …… | …… |

◎四圓の値上を實行し之と同一會社の裕物は五圓高を主張するに至りしなど局先商品中……より尤も地方によりては競爭地さ然からざる關係もありて價格の著しき差を示しつゝあり

◎牛皮活躍す 一時は安値約六七圓騰 ……

材料有て根底深き ……

◎鮮人向昆布近況 鮮人向宗谷其他の北海產昆布は新物の不作と高値なる一面には昨年の不況を受け今尙多大の持越品を擁し居れる際とて問屋側の大手の一部には此處產地に對する新期買付を許さゞる事情もあれば此邊鮮御の需要期に接ふるに拘らず

無きの變にて今後多大の入荷あるも鮮徐前後は先づ之等……入荷は依然皆無

殘品を弗々處分 ……

北鮮物は ……

◎麥粉は區々 ……

殆ど一定 ……

デリ〳〵下向 ……

下關相場

▲朝鮮米は手堅し……▲大豆は氣弱し……▲小豆は先づ保合……▲朝鮮一等白米（當用）十三圓十錢

京城正米

南大門の廻米

仁川現物市場

生魚市場

仁川期米

▲十三日前場 大阪一節十八錢 ……

大阪五節二十錢

四錢と高移

十四錢

市場零聞

▲前場の商戰

▲前場大下放れ

鐘と崩れて不勢の散會 ……

三巳仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町二丁目

▲私信の一齣

被害甚大な播州地方

先づ五千萬石と見て

▲天候續て不良

▲俄然暴落す

軟軍は好箇の戻り

樂悲各其見解

程度激しき……

仁川米豆取引所

| 前場 | 寄 | 止 | 高 | 安 | 出來高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 十三日の十一月限 | | | | | |
| 一節 | 九圓四十五錢 | | | | |
| 二節 | 九圓三十九錢 | | | | |
| 三節 | 九圓四十九錢 | | | | |
| 四節 | 九圓三十四錢 | | | | |
| 五節 | 九圓二十六錢 | | | | |

| 平均値段 | 買 | 賣 | 取組高 |
|---|---|---|---|
| 九月限 | | | 三千百五十石 |
| 十月限 | | | 九千九百石 |
| 十一月限 | | | 二萬四千五十石 |

| 十四日 | 前日比較 |
|---|---|
| 寄附 | 九、七五 三〇安 |
| 止め | 九、六八 二九安 |
| 高値 | 九、七五 二六安 |
| 安値 | 九、六一 二二安 |

▲宇治川水電株

小賣白米

| | |
|---|---|
| 一等白米 | 十三錢 |
| 次白米 | 十二錢五厘 |

白米標準値 十二圓六十錢

朝鮮郵船株式會社

株式名義書換停止公告

來ル十月一日ヨリ定時株主總會終了當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス右定款第十八條ニ據リ及公告候也

大正四年九月

清酒 優等 鶴 京城本町三丁目 本莊酒店

# 演藝案内

壽町 壽館 電一〇五〇

御成座 電話一一九一

浪花館 明治町 電話二六〇

佐久良座 龍山 電六四八番

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七

世界館 黃金町 電一四三三番

大正館 櫻井町 電話八七三

# 大岡政談 越後傳吉

第百五十二席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

文左衛門が　文『其ぢやア庄兵衛、氣の毒だが一つ話しをして呉れ　庄『宜しうございます』茲で庄兵衛が松葉屋へ來て主人に會つて話しをする、松葉屋の方では勤め盛りの女で惜しいが身受をするといふのでいけませんといふ譯にはいかない、そこで六百兩に賣ふといふ、庄兵衛歸つて來て話しをすると文左衛門六百兩が七百兩でも宜いが金が足りない、手許にないから使ひを出して國許から金

子を取寄せて身受けをしようといふ事になりました、之を聞いて驚いた白菊新造の花野を呼んで　白『ねえ花野さんどうしたら宜からう　花『どうも困りましたねえ　白『妾しやアあんな厭な奴に身受をされて一日でも生て居る甲斐はないから死んで了ふ　花『まアそんな事を仰しやつてはいけませんよ、それにしても新さんが來て呉れゝばいゝが生憎チツとも姿を見せない困りましたね　白『どうしたらいゝだらうね　花『それぢやア花魁かうなさいまし、貴方がいつもの病氣だといつて根岸の寮へやつてお貰ひなさいまし、其から妾が楠孔明の智恵を絞つて新さんにお會はせ申しますから　白『それではさう』と何か相談して主人へ頼んで根岸の寮へ出養生にやつて貰ふ事にいたしました

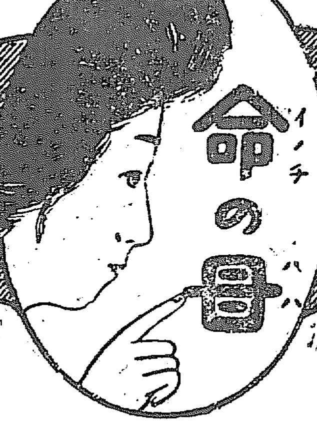
モゥ白菊位の女になると我儘をいつても通るもの、寮から手紙を書いて新之助の處へ持たせてやる、此方は新之助八百屋の二階でボンヤりして居る處へ手紙、可愛い白菊の手蹟だから急いで封を切つて見ると是々斯々いふ譯になつて根岸の寮へ來て居る會て相談したいから來て呉れといふ文面、新之助も驚いたが何しろ會つて話しを聞かうといふので其晩根岸へ忍んで參りました、番頭新造の花野の計らひで庭の非常口を開けて　白『新さんか　新『白菊か　白『會たかつたわいな　新『己も會たかつた』大變な森になつた、そこで白菊が吉原へ歸ればいづれ身受けをされるに決つて居るからとても事に何處へでも連れて逃げて呉れといつて泣く、花野も佐野の椋鳥なんぞに連れて行かれゝば花魁は死んで了ふ、どうか新さん花魁を連て逃げて下さい、妾の伯父が千住の先の竹の塚といふ處に居る親切者だから茲へ行つて身を隠して居て其中に新さんがどうにかなつたら天下晴れて夫婦になつて下さいといふ、新之助も女に會つて泣かれて見ると厭とは言ばれない、まして厭どころぢやアない惚合つた仲だに依つて前後の考へもなく承知をして二人手に手を取つて其儘驅落をしてしまひました、跡は大變な騷ぎ、相手は新之助といふ事は分つて居る、けれども松葉屋の主人が大腹中だから長い事はない今に二人は知れる騷ぐには及ばないといつて居ります、流行大家の主人だけあつて落付いたもの、新之助白菊の二人は竹の塚の吉兵衛といふ花野の伯父の家へ來て三月ばかり隠れて居りましたがいつまで此處に居た所で仕樣がない、新之助が　新『定めし服部文左衛門の方でも手分けをしてお前の在所を探して居るに相違ない、まご〳〵して探し出されりやア玉なしだ、其に就いて考へたが上州舘林の城主で松平肥前守之は六萬石のお大名だ、其家中に番頭を勤める久松覺兵衛といふ是は已の伯父に當る人だ、是れは已の親父や兄貴と異つて苦勞人で若い時分には道樂を仕盡して酸も甘も嚙分けた伯父さんだ、まさか野暮な小言をいふ氣遣もあるめえ、已も生涯グズ〳〵して居るのも厭だから伯父さんの所へいつて一つ頼んで見よう』といふので白菊も廓の風を改めて素人染みた扮装をいたし、髮などもスツカリ直して本名のおきみ、吉兵衛がモー少しといふのを無理に暇を告げて旅の支度をいたし、竹の塚から日光街道へ掛つて其晩は粕壁へ泊り、翌日立つて道を急ぎ幸手の宿の手前へ差掛つて參りました、處がおきみは廓育ち、草鞋の重いのをはいてバタ〳〵歩いて居た女でございますから道中は無理、足の裏へマメを踏出して泣きさうな顔をして居ります　新『おきみ何した　き『歩きつけませんから足にマメを踏出して痛くつて仕方がありません。


## 新柄流行縞セル

壹反僅か壹圓五拾錢一反毎に純金代用金指輪と福の神の金像二品無代進呈

見切捨賣の元祖大阪南區瓦屋町四番町合資會社日野商店が今やセル需要好機に又々見切亂賣なし一見舶來本毛拾圓以上の品に負ぬ上等品一號壹圓五拾錢二號壹圓七拾錢三號貮圓拾錢飛切上等品貮圓八拾錢と云ふ空前絕後の格安馬鹿値で大賣出しなし記念として純金と寸分違はぬ男女用代用金指輪と開運出世の福の神像二品無代進呈する事にて大好評を博し注文に迫はれつゝあり因に希望者はハカキで男女年齡を記し注文せは柄合親切に見計ひ代金引替小包料實費で送る倘信用を重じ不向の節は他品交換又は代金返戻する由に付諸君は大安心の上注文するを得べし






永年の子宮病や

# 血の道が心よく治つて

コンナよい子が産れたのは

# 命の母

の御蔭と禮狀澤山

日本で一番の下山薬學博士も

# 第一等の婦人薬

は命の母（婦人藥として世間に存在する諸藥と比して卓絶なる効驗を有す）と證明せらる

向つて右上より
(一)岩手縣金澤村　菅原　愛兒
(二)越前敦賀櫻町　加藤　愛兒
(三)紀伊田邊町　金谷　愛兒
(四)播磨西神吉村　岩本　愛兒
(五)福岡縣内野村　今林　愛兒
(六)吳市愛宕町　香川　愛兒

最近之一例
(一)豐橋市大字船町　山田　愛兒
(二)小倉市魚町　島中　愛兒
(三)福岡縣赤池町　内山　愛兒
(四)兵庫縣氷上町　岡　愛兒
(五)栃木縣河合町　石島　愛兒
(六)武州飯能町　横田　愛兒
向つて左上より

北畠佐藤西巻三醫學士共著
## 婦人病者の心得
ハカキで申込者に限り本書は無代進上

命の母藥價

| | |
|---|---|
| 試用分 | 十錢 |
| 二日分 | 廿五錢 |
| 七日分 | 八十錢 |
| 二週分 | 壹圓五十錢 |
| 五週分 | 參圓 |
| 十週分 | 五圓 |
| 加減命の母 | |
| 五日分 | 八十錢 |
| 十日分 | 壹圓五十錢 |
| 一ヶ月分 | 參圓 |
| 二ヶ月分 | 五圓 |

●信用ある各藥店にあり

東京市京橋區新泉町四丁目　電話京橋二一〇一番　振替東京五〇五〇番

本家　笹岡省三藥房



宮内省御用 皇后宮職御用 各宮家御用品

品質も効果も

# 一等傑出せる

男女素顔の美を増す化粧料

# 乳白化粧水レート

△脂肪を止め△汚れを去り△色艶をよくす
△肌心地を爽快に△白粉附をよくす

内外博覽會金牌受領

汗や脂に傷められた肌には乳白化粧水レートの化粧が一番よい

東京・大阪　平尾贊平

第三版

京城日報

年中無休刊
（大祭祝日翌日休刊）

發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 [illegible]口政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社

# 朝鮮開發の五年

## 四 行政施設

### 臨時恩賜金事業

先帝陛下朝鮮の統治權を收め給ふや慈仁の叡慮に依り國帑三千萬圓を支出し以て撫養救恤の資に充てしめ給へり。之に依て朝鮮の王族貴族及び功勞者にして恩金を賜たる額八百卅四萬餘圓、兩班儒生の耆老中衛の恩典に浴し賜金を下されし額三十萬圓、孝子節婦を表彰し鰥寡孤獨を救恤せられたるもの卅三萬餘圓而して更に新附の臣民を賑恤せむとの優渥なる聖旨によりて一千七百三十九萬八千圓を朝鮮全土三百二十九府郡に賜ひ之れを基金として永久に保存せしめ、其の利子を以て朝鮮士民の授產、教育及び備荒の資に充てしめ給ひたり。臨時恩賜金事業は即ち此の聖旨に依りて起れる也。

當時朝鮮の民衆は偶々勸勉の心ある者も求むるに職業なく、學ぶに庠序なく、凶歲には饑餓に瀕するも救助を得るの途なかりしに揣らずも此の未曾有の恩澤に遭ひ、萬衆の驚喜措く能はざりしは固より其所なり。されば總督は謹で聖旨を體し孜々利用厚生の實を擧げむことを期し、前記恩賜事業基金一千七百餘萬圓に對する利子年額八十六萬九千九百圓の六割即ち五十二萬千九百四十圓は之を授產事業に三割即ち二十六萬九百七十圓は之を教育費に殘餘一割即ち八萬六千九百九十圓は之を凶歉救濟費に充つることゝし道長官之を管理し豫算を定むる時は總督の認可を受くべしとなせり。

本事業の實施は明治四十四年に初まり、日を經る未だ淺しと雖も、事業の經營については最も當局の努力して聖旨に奉答するを期したる爲め、年々相當の好成績を擧げつゝあり、今其事業を簡敍すれば

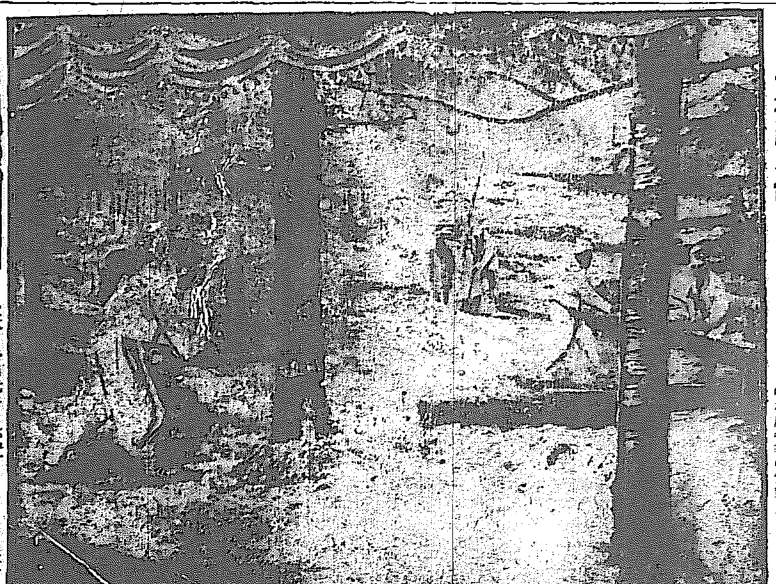
授產事業は兩班儒生の如き恒產なき者に對し產業を授くるを本旨とし其の經營又は補助すべき事業は地方既に素地あり既に國內に多少存在し經營の最も容易にして奏功確實、假令微々なるも依て以て糊口の資となすに足るべきものを選擇する方針の下に、府郡毎に其情況を參酌して普遍的の施設を定めたり。素より各道府郡に於ける事業は多樣に涉れるも之を總括すれば養蠶、機業、農事、製絲、製筵、製炭、製紙、製蓆及び水產等に關する傳習事業は最も主要なる事項に屬し、是等傳習事業中比較的長期の養成を目的とする傳習所の數は毎年百數十個所、其生徒數二千數百人に達し創始以來大正四年度に至る傳習生の數は通計一萬二千二百餘人を算せり。此の他蠶具、蓆、繩叺製造、稻扱、製麻、漁撈等に關する短期の傳習は到る處に奉行し傳習を受くるもの何年數千人を數ふ。右の外巡回教師の設置、農產、林業、畜產、水產及び各種工業に關する種苗、種畜及び器具材料の配付等に依り地方產業の開發を促がしたること鮮少に非ず。

斯くの如くして傳習所に養成せられたる生徒の出でて夫々實地の業に就き、履修事項を應用せるもの多く其の地方產業に及ぼす効果は實に多大なり。尚ほ事業間接の効果とすべきは從來力役勤勞を卑みたる兩班儒生の子弟にして、自ら此等の傳習所に入りて修業し、進んで耕耘栽培に從事し、或は屋內に蟄居して光陰を徒費したりし婦女子が養蠶、製絲、機業等の傳習を受けて勤勞に就く等隨所に美風を生じたる事にして、此傾向の益々嬉しきは眞に喜ぶべし。

教育事業に在りては、力めて資金を基とし鄕校財產其他の收入を加へ普通學校を設立する事とし、即ち主として公立普通學校經費を補助し又地方に依り私立學校等にも補助す、其の補助を受くる公立普通學校は三百九十八校、私立學校六校、幼稚園一校なり而して此の補助に依り新たに公立普通學校を設くるに至りしもの合計二百九十九校に達し効果實に顯著なりとす

凶歉救濟事業に在りては、萬已むを得ざる場合に之を行ひ濫施を戒しめ、且つ之れを行ふに當りても力めて生業扶助又は現物給與等時宜に適應せる工夫に出づるを主旨とし、主として種穀、農具、食糧を給與し、又地方に在りては醫藥、家屋料、被服費等をも給與するの方法を設けたるが幸にして爾來甚しき凶歉に遭會せず、只二三の道に於て洪水旱魃の害により若干の食糧及び種穀の給與を行ひたるのみ。

臨時恩賜金事業の成績は右の如くなり、以上各種の事業にして更に漸次其の發達を見るに至らば、一般の施設と相伴ひ人民の處世就業に多大の便宜を與ふると共に其の精神上に尠からざる感化を及ぼすべく、朝鮮の民衆は切に[illegible]の天恩を銘肝して永く忘るゝなかるべき也。



營林廠別館內ジネオラマ（鴨綠江上流に於ける營林廠伐木の作業）

# 出品概觀（一）

## 第一、總說

始政五年記念朝鮮物產共進會の出品は從來本紙の屢々報道せるが如く鮮內各種の產業に關する出品は固より臨時恩賜金事業、教育、土木及び交通、經濟、衛生及び慈惠救濟、警務及び司獄、美術及び考古資料等各般の制度文物に關する出品を網羅し、併合以來產業、其他文物の進展發達狀況を表示し、更に參考として內地及び外國品中朝鮮の產業上必要と認むる物品並に日常必需の物品を出陳せしめ之れを十三部類及び道勢一班、並に參考品の十五種に分てり出品點數は朝鮮內三萬二千六百五點、朝鮮外參考品八千六十點總計四萬六百六十五點の多きに達す。今總點數を細別せば左の如し

▲第一部農業　五百六十八坪を占め一萬三千十二點を陳列す其種目は米二千九十二點、麥千二百六十點、雜穀五百五十五點、菽千五百六十七點、棉花三百九十二點、葉煙草九百二十九點、製造煙草二百十三點、人蔘六十點、藥草四十三點、工業用農產原料四百十九點、蠶絲二千五百七十一點、畜產及び狩獵二百八十九點、肥料二百四十六點、農業方法及び成績八十點なり

▲第二部拓殖　八十坪內に五十三點を陳列す其種目は移民十五點、開墾及び灌漑四十三點なりとす

▲第三部林業　一百坪內に千三百三十二點を陳列し林產物千百六十七點、造林及び伐木六十九點なり

▲第四部鑛業　一百坪にして七百六十七點を包容す、種目は鑛物及び地質七百二十八點、鑛業の方法及び成績三十九點なり

▲第五部水產　二百八坪を占め一千八百三十一點を陳列せり、種目は水產物千六百三十點、漁業及び養殖四百二十八點なり

▲第六部工業　四百四十坪を算し出品點數七千七百九十點に達す。即ち織物及び其製品千六百七十四點、窯業製品五百九十三點、金屬及び玉石製品七百七十一點、木竹製品七百五十三點、紙及び其製品五百四十一點、化學製品三百八十三點、携帶品及び裝身具千二百九十七點、印刷寫眞及び文具、醸造品四百五十六點、飲食品七百十二點、中央試驗所及び工業傳習所出品千十一點なり

▲第七部臨時恩賜金事業　八十坪を盡し八百六十四點を陳列せり

▲第八部教育　百七坪內に三千九百三十二點を陳列したり

▲第九部土木及交通　百九十七坪內に二百四十六點を陳ね、即ち土木六十點、交通百八十六點なり

▲第十部經濟　百八十二坪を劃し千八百八十五點を出陳す、其種目は經濟機關百四十一點、貨幣及び度量衡三百十三點、經濟總計三十五點、土地調查百九十六點なり

▲第十一部衛生及慈惠救濟　九十一坪內に千四百八十四點を出陳す、其種目は衛生六百四十點、慈惠救濟八百四十四點なり

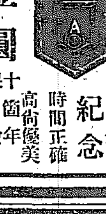
▲第十二部警務及司獄　九十四坪內八百四十九點を陳列し警務二百六十點、司獄五百八十九點とす

▲第十三部美術及考古資料　二百三十坪の館內に考古資料千六十一點、美術品二百八十八點、合計千三百四十九點を陳列せり

▲部外出品　此他審勢館には道勢一班を表示するの總數千二百四十六點を陳列し、參考館には織物、組紐物、及び絲、紙、窯業製品、金屬及び金屬品、木竹製品、文房具及び玩具、農具、漁業用具、機械及び器具、車輛、雜工品、特種出品等七千九百二十九點を陳列せり

出品物は何れも當事者に於て深く意を選定配列に用ゐたるが就中始政五年間に於ける進步の經過を示さんとする出品の如きは特に其選定、配列に注意し比較對照を一見明白ならしめたり。又朝鮮鐵道局、營林廠、東洋拓殖會社等が特に別館を建設して模型、繪畫等に依り巧妙なる意匠を用ゐて其事業狀況を展示し、全羅北道臨益水利組合及び平安北道大正水利組合が各一千坪の館外地物を利用して水利事業の模型を出品せるが如きは其最も顯著なるものにして其他各陳列館を通じ重なる事業家同業者組合等に於ては、模型、人形等に依り出品の意匠を凝らせるもの尠からず又た機械館に在りては各種の動力機鑛山用機械、力織機、編網機、製麵機等を出陳して運轉狀況を實地に示せるが如き何れも朝鮮初回の共進會として頗る人目を惹けり、之れより回を追うて各部に就き其出品を槪評す可し

**道路開通**
昨年八月以來弘濟院國道改修工事の爲め運搬不可能に候處漸く本日を以て開通仕候間倍舊御注文奉願上候
九月十三日
**井上採石場**



**大典紀念**
時間正確 高尚優美
保險十箇年
特價 **金壹圓**
荷造送料共廿錢 海外四十錢

**參年保險附**
十八金著
特價 **金壹圓八拾錢**
荷造送料十二錢（獨逸玉入共）三十錢
其他、金、銀、洋銀、赤銅、鐵種々
東京市京橋區豊玉橋通り
關ケ谷貴金屬製作所 **通信販賣部**
電話京三二六 振替東京三〇六九

▲山縣政務總監閣下題辭
朝鮮總督府屬兼京城專修學校講師 江原善槌先生著▲
# 公文用字例
**官公吏員座右之銘** 本書は著者が多年在官の經驗を以て東洋協會講師として口述したる草稿に基き訂正增補を加へ刊行したるものにして單り正格なる公文用字例を示したるのみに止らず普通文に於ても亦好個の指針たるを疑はず故に本書は官吏會社員學校教師等の座右必ず一本を具へざる可らざる良書なると同時に文官受驗生に取て最善の參考書たり
**五千部限り特價金八拾錢**
三六版總クロース製箱入 紙數約五百頁
定價 **金壹圓**
送料 內地金八錢 朝鮮滿洲金二十錢
發行所 東京神田振替口座七四四七 **清水書店**
特約一手販賣 朝鮮京城本町二丁目 **大阪屋號支店** 電話二〇八六番

機を見て利を計れ
帽子とたびの仕入先は
○營業案內御入用の節は御一報次第送呈す
釜山 **大山合名會社製品に限る**
電話長一九一番　振替京城九一番

# 英語講義錄
**會則進呈** 內容見本附詳細案內書 申込者に無代進呈す
**親切な講義 完全なる設備**
世界的交通の今日何人も缺く可からざるは英語の力である。駸々たる世界的趨勢なる競爭場裡に立たんとする諸君に一日數時間を割きて英語を學び立派に立身の根底を造らんとは思はざるか
本會は十餘年の經驗と努力とに依り現今最も信用ある通信講義錄を發行し最も親切なる設備とに依り有効に迅速に諸君の目的を全ふすべし。
東京市麹町區飯田町七丁目 電話番町三四七〇番
**大日本國民英語學會**

大阪三品

大阪期米特電（十三日）

仁川米豆取引所

▲後場の商况

▲波瀾重疊

## ○海軍補充計畫決定
### 遂に大藏海軍兩省の讓歩にて

海軍補充計畫に關する防務會議は十三日午前十時半首相官邸に於て開會大隈首相、武富藏相、岡陸相、加藤海相、長谷川參謀總長、島村軍令部長等參集海相より補充計畫に關する説明をなし藏相より財政上補充計畫との關係を縷陳し正午休憩午後會議を續行し二時散解したるが始め海軍側の八四艦隊制と大藏省の査定案とに多少の距離ありたるも現今の財政狀態を以てしては止むを得ざるものとして大藏省の査定案を容るゝ代り大藏省は海軍の補充計畫に保證を與へ之れにて總ての協定を終りたり（東京特電）

## ○海軍將校更迭

十三日左の通り更迭發表ありたり（東京特電）

關東指揮官兼工作部長　海軍大佐　河野佐金太
補佐世保海軍港務部長　海軍大佐　櫻井　眞清
免英國駐在補海軍々令部員　海軍中佐　大塚助次郎
免橋立艦長心得補關東指揮官　海軍中佐　大石　正吉
補橋立艦長心得　海軍中佐　四竈　孝輔
補霧島艦副長　海軍中佐　水野　廣德
補肥前艦副長

## ○毛利氏の授爵

乃木伯爵家再興の恩命に浴したる毛利元智氏は陸軍騎兵中尉の盛裝にて十三日午前十時十分參内し十一時宮中南溜の間に於て波多野宮相小原宗秩寮事務官參列左の如く爵記奉授式を行はれ終つて賢所大前に於て誓を捧げたり

特授伯爵　正八位勳六等　毛利　元智

十三日午前十一時半宮城退出直ちに青山なる故大將の墓地に赴き優渥なる天恩降下の趣を報告せり（東京特電）

## ○裏松子爵薨去

貴族院議員陸軍歩兵少佐從二位勳三等功五級子爵裏松良光氏は十二日午後腦溢血を起し三番町の自邸にて卒然薨去せり享年六十一歳（東京特電）

## ○乃木將軍三年祭

十三日は乃木大將夫妻の三年祭日に相當するを以て赤坂新町なる舊乃木邸にては午前八時より嚴かなる祭典を行ひ久保日枝神社宮司神饌幣帛を供へ奏樂中に祝詞を奏し終つて山縣、大山兩元帥代理東郷、奥、川村の各元帥其他陸海軍武官朝野の名士數百名學習院生徒等順次參拜し九時奏樂裡に式を終れり（東京特電）

## ○血清四割減決定

文部省にて傳染病研究所のヂフテリア血清不廉の爲め公私立病院等にて之れを用ゆること甚だ困難なる狀況にあるより今回其の賣價を四割方減ずることに決し十四日の省令を以て左の如く公布せり

第一號六百單位六十錢を五百單位三十錢とし二號千單位一圓を六十錢とし三號千五百單位一圓五十錢を九十錢に減じ尙ほ一瓶三千單位五千單位の二種を造り之れを一圓八十錢及三圓とする等なり此の減額は本法施行の前日より既往一箇年間にも有效とし此の一箇年間に買求めたる使用殘りの分は施行當日より九十日以内に其の引替を申出れば新定價の割合にて新に引替へる筈なり（東京特電）

## ○鮮鐵祝賀出席

朝鮮鐵道一千哩祝賀會出席者二百五十名十九日朝下關發連絡船高麗丸にて渡鮮す可し（門司特電）

## ○試驗船の遭難
### 乘組員行衞不明

平安南道漁業試驗船は近海に出漁中九日正午頃暴風に出遭ひ鎭南浦沖合にて遂に覆沒したるが同船乘組員の四人中内地人漁業敎師一名内地人漁夫二名行衞不明となれり漁業組合にては此の急報に接し十二日救助船を出したるに船體、漁具等發見せられしも乘組員は發見されず（平壤特電）

## ○永興漁船遭難

咸鏡南道永興郡古寧面地方は九日以來暴風吹き荒み海岸に面せる十一戸の家屋は破壞せられ近海に出漁中の漁船四隻は激浪の爲め粉碎されたるが乘組員は幸ふじて救はれたり尙十三日元山水産組合より救助員を派遣せり（元山特電）

## ○元清電線故障

過日來の暴風にて元山淸津間の電信線は非常なる損害を被り不通となり居りし所十三日午前より漸く復舊通信に差支無き事となれり（元山特電）

## ○九州拜觀人數一萬人

御大典に就き九州鐵道全線にて十日締切の第一回拜觀團隊員數約一萬人に達せりと（門司特電）

東京發別電

## ○軍需品民製許可

露國の註文に應ずべき軍需品の製造は政府監督の下に民間のトラストにも許可する筈なり

## ○露軍攻勢に轉ず

ガリシヤ方面に於ける獨墺軍の敗退を機とし露軍は全線に亘り攻勢に轉じ戰局有利に開展しつゝあり

## ○交通兵課設置

支那交通兵統一の爲め近く同課を陸軍省内に設置さる可し

## ○大刀山肺炎に罹る

地方巡業より歸京せる橫綱大刀山肺炎に罹れり

## 朝鮮大共進會

### ▲觀覽續々

朝鮮始政五年記念共進會開催に付き觀覽を兼ね渡鮮するもの多く十二日朝鮮料理屋業組合二十名の出發を先發隊とし櫻正宗店員二十名の外各方面より鐵道院へ申込みあり朝鮮行乘客は本月末が出盛りなるべし（大阪特電）

### ▲大阪朝鮮視察團

大阪商業會議所副會頭始め有志は朝鮮始政五年記念物産共進會觀覽かた〲全朝鮮視察のため視察團を組織せる事既報の如くなるが十月上旬出發すと團員左の如し（大阪支局）

今西林三郎、法橋善作、森平兵衛、上田彌兵衛、高砂長兵衛、梶彥兵衛、松塚孫三郎、堀田元次郎、樋口勇吉、稻畑勝太郎、井上書記長諸氏、會頭土居通夫氏（未定）

### ▲扶餘の觀覽團

仁川協贊會に扶餘郡廳より團體觀覽申込あり第一團八十五人は來る十六日第二團五十五人は十月四日第三團

### ▲水族館部長會

仁川協贊會は十二日午後一時部長會議を開き左の件を決定す（一）表門通りの柵を改築し監視に便ならしむる事（二）入札所は從來土間なりしを板間とし卓子を置く事（三）海獸池前を廣める事（四）守衛看守増給の事（五）便所の増加（六）接待員の休憩所を設くる事（七）優待券所持者は二階の大休憩所を充つる事

### ▲兩日の入場者

仁川水族館十一日入場者一千七百七十五名十二日は二千四百五十三名也

### ▲元山の觀覽團

元山毎日新聞社主催の觀覽團七百名は來る二十六日仁川水族館を觀覽すべしと

### ▲寺田知事視察

寺田廣島縣知事は水族館觀覽を兼ね産業及び水産狀況視察の爲め十三日來仁す

## ●入鮮の感
### 服部兵庫縣知事談

共進會開會初頭内地より第一着の觀光團として十二日入京したる兵庫縣有志鮮觀光團員には殆んど知名の士を網羅せるが中に服部兵庫縣知事もありと聞き旅館天眞樓に訪ひ刺を通じたるに未だ旅裝を解きたるまゝなれば、さて神味を帶びた大兵肥滿の老紳士縉紳の座蒲團の上にどつかと座して語る

朝鮮はお初ですよ、併し内地に居る内からして朝鮮と謂ふものに對しては多少の興味を有つて居たからして人の話の端々や又は書物等で所謂見聞して居たのであるが今度實地に來て見て驚いて終つた　百聞は一見に如ずですね、、、。何に驚いたつて先づ一番先に目についたものは山だね内地に居る頃は朝鮮は禿山許りだと聞いて居たのである

▲釜山埠頭の初印象　釜山に著いて見れば禿山どころか立派な山林許りだもの又來る道筋の山々にしても植林が普及して居るのには驚きましたよ單に山に樹木が多くなつて來たと云ふ許りでなく鮮人一般に植林思想が發達して從來の濫伐なんかを遣らぬ樣になつて來たと聞いて私は非常に喜んで居る處なんです、植林をすることも素より必要であるが實は此方が仲々大切な問題なんだからね

▲農業の普及改善　今一つ驚いたことがありますよ、驚いたこと許りだつて、實際そうなんです自分の想像して居たこととまるきり異つて居るんだもの驚かざるを得ないではないか、其今一つ驚いたことゝ云ふのは農作物改良發達の著しき跡があるからである第一汽車の沿道から見ただけでも秩序整然として米田が改良式に植ゑられた具合なんかは内地と分厘も異つた所がないのみか寧ろ或點から云へば進歩して居ると思ふ、種々な原因もあるであらうが要するに總督府の取りたる産業政策が其宜しきを得たると一方には併合以來内地農民の移住によりて内地式改良農法の軌範を附近鮮人に傳へたるとの結果であらうと思つて居る

▲其他は推して知る可し　何んと云つても農は國の大本就中朝鮮の如く豐饒なる沃野千里の地にあつては一層此感を深うするのである總督政治茲に五年其の記念として今回共進會を開會せられ十三道の生産物にして出品せらるゝもの數萬を以て算せらると云ふからには定めて盛なものであらうと思ふ、入京匆々のことゝて未だ實地の觀覽はしないけれども途上沿道の瞥見によりて得たる山林と農況とから押して考へれば其他の文物の進歩發達の著しいことは明かなことである、京城はこゝ兩三日で引揚げて元山、義州其他未見の地を視察する考で居るが定めて有益な觀察を遂げ得らるゝことゝ多大の期待を持つて居るのである（十二日午後記）

## ○連絡電線復舊

日露連絡線及び北鮮地方の各電線は過日來不通なりしも十三日を以て全部復舊したり

## ●乃木將軍追悼

永樂町本派本願寺にては九月十三日午後二時より故乃木大將夫妻第四回追悼會を施行せしが一般信徒其他有志の參拜ありて午後三時嚴かに式を終れるが尙引きつゞき伊藤公及び賀稱子の酬恩法要を謹修せり

## ●叙任辭令　十一日附左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府道慈惠醫院醫官從七位　塚田　高輔
陞叙高等官六等

## ●警務部長招宴

宇佐美内務部長官、兒玉總務局長、關屋學務局長、山形憲兵大佐等は十三日午後七時より入京中の各道警務部長を千代本に招待晩餐會を催せり

## ●十三日より半休廢止

總督府及び官公衙の半休は例年の如く十日を以て了りを告げ十一日よりは毎日午前八時始め午後四時退けとなりたり

### 人事消息

▲松本正寛氏（辯護士）十三日夜出發南鮮地方へ出張二十二日頃歸京の筈
▲武藤文吾氏（江原道第一部長）入京中の處十二日歸任
▲鈴木武太郎氏（東京府立園藝學校長）入京中の處十二日平壤へ
▲林茂樹氏（憲兵大尉）入京中の處十二日全州へ
▲井上孝哉氏（東拓理事）十三日朝農商工部訪問
▲大池忠助氏（代議士）衆議院議員當選無效訴訟事件にて十三日朝出發東上本月二十七日頃歸釜
▲櫻井小一氏（仁川稅關長）十三日入京即日歸任
▲鈴木武臣氏（江原道警務部長）十四日朝歸任
▲浦野丈藏氏（全南警務部長）同上

## ■問題の支那帝政論
### グードノウ氏の原文より

昨紙本項末尾に左記脱落したるを以て茲に掲出す

規定を設くるに非ざれば其の變更は支那人にとりて永遠の福音となるや否やは疑問である若し支那人にして世界の各國間に其適當の位地を維持せんとすれば其人民をして從來よりも優れる愛國心を發達せしめ政府をして克く外國の壓迫に抵抗し得る勢力を増進せしむべきである、然れども政府は人民に過去に於て賦與せしより以上に參政權を賦與するに非ざれば人民の愛國心を發達せしめ能はぬ、政府は人民の眞情より出づる援助を受くるに非ざれば必要なる勢力を決して得ることは出來ぬ殊に人民をして自ら政府の一部分を享有することを感ぜしむるに非ざれば政府は何等有力なる勢力を得ることは出來ぬ。又人民をして政府は人民の幸福を計る機關であつて而かも人民は政府の行動に對し或る程度まで監督者である事を自覺せしめねばならぬ。何れにしても立憲政體の發達を計るに非ざれば完全にして勢力ある君主國體を望み難い。

國體變更に關し必要なる條件は以上の如く指摘して掲出したのであるが是等の重要問題は勿論國の事情に精通し而して支那の將來の發達に責任を有する人によりて決定せられねばならぬ、尙適の條件は國體變更により支那の幸福安寧を増進せしむるに疑問なき事を示すものである（完）

## 鐵道大競走

南行選手（米の群山へ一…して裡里に向ふ）
北行選手（平壤より鎭南浦へ夫れより北行す）

### ■別府南行選手

#### ▲百萬石の平野

雲重く空を蔽ふて湖南線の山河は沈しかつた、白い雨脚が時折車窓に映り遠近の連山には朧な霧が浮動してゐる、列車が江景の沃野を過ぎると朝鮮の寶庫百萬石の全州平野に出る群山支線の分岐點裡里は實に其中心地で東西十里、南北八里十九町歩の沃田は際涯もなく平々坦々と四方に打續き一眸の下に見渡さる」今夏全北は旱魃の聲を聞いたが其後雨多く且つ順を得て降り濺いだので、平年作は確からしい遙かな地平線上粗末な假小舍が幾つも立ち其處に詰めてゐる白衣の鮮人がホーイ〱と高聲擧げて雀を追ふ、何にしろ道廳の調査では一年の雀害二十萬圓を下らぬこといふから彼等の聲を嗄らして呼ぶ聲も自分には意味深く聽かせらるゝ、稻は漸次穗を垂れかけてゐる、九時四十分群山に向ふ（十二日午後三時發、湖南線裡里より）

### □北行選手平壤出發

滿鮮臺鐵道競走北行選手神崎憲一氏は十三日午前四時平壤著同四時二十分平壤驛發の列車にて鎭南浦に向ひ十一時十二分同地著午後三時十二分再び平壤に引返し同三時二十分平壤發北行したるが平壤驛には松永道長官代理阿部鮮銀支店長其他内鮮官民多數の送迎あり道廳府廳その他より繪葉書、案内書等の寄贈あり官民の好意は至れり盡せりにて松永道長官の如き時間さへ許さば選手の歡迎會を催さんものを行程の都合上實行し得ざるは遺憾なりと語れり何支局員は爰に謹んで選手に對して多大の好意と便宜を與へたる黃州、平壤、鎭南浦の三驛長に謝す（十三日午後三時三十分發平壤支局特電）

#### ▲糠の香と米の俵

群山は米の群山である、其れは米穀の輸移出高と背後の米産地に取引する雜貨類が年額一千萬圓近くの貿易中大部分をしめて居るので分明る、市中に入ると糠の香と米俵の臭氣が滿て居る、此の米の群山が一昨年來の豐作と異常な米價暴落とにより市況は沈靜せしめたのは當然である、米が出來過ぎて不可ず、收穫がなければ尙ほ不可ぬ、難しいのは米の問題だ僕は十三日一時間餘を驅け廻つて彼方此方訪問した、新米の走りが數日前に金堤郡より二艘許り出たと云ふ群山より再び裡里に引き返し新舊市街を歩いた、此處は全州、群山間の交通の要衝に位し加ふるに全州平野の中心にして湖南線中唯一の新興驛だ、內地人戶數五百、人口千六百と聞いた丈けで其の躍進的な發展に驚く、市街の如き一兩年前のトタン屋根があらかた死苔に變りズラリと並んだ店の商品も可なり充實して居る（十二日午後三時三十分湖南線裡里驛發）

### ■神崎北行選手

#### ▲驛長の名が勝

何んだか落ち付かない、今自分のして居ることが間違つたことをしてる樣な氣がしてならない、先づ腹でもこしらへてと買い込んだ辨當を詰め込む、何時も一つで足りない辨當が今日は食ひ切れない『馬鹿なッ』と自らを叱して雜誌太陽を讀む、其の内に漸く落ち付いて來る、鎭南浦に著く、大阪商船支店長長谷場夫人が令息を伴れて迎へて下さる、支局の鈴木君も來て呉れてゐる『まあ何うなすつたの、しつかりなさらないと不可ませぬよ』と夫人に叱られる、此處の驛長が黃州驛長からの電話で知つて其れから知らせて貰つたとのこと、驛長は『流石貴君は仕事がうまい、結局何の故障もないことをやつて讀者を驚かすのだ』と妙な處で褒められて鹽と砂糖を一所に嘗めさせられた樣な氣がする、又た曰『黃州驛長は三鍋勝太郎と云ひます、貴君が何の用もないのに彼所にまぎれ込んだのは勝こいふ吉兆です貴君はこれ〱でせうと何時々々が何處其處と南大門から南大門迄歸つて來る僕の旅程を明言して私の調べでは貴君の勝ちや』さう云はれると萬更ら不可な氣もせぬ、皆に前途を祝福されて南浦を後にし平壤に歸る、御心配をかけてお氣の毒でした、未だこれからだ（十三日午後三時平壤驛發）

## ●大雜踏

共進會の開會されたる初日の十一日から新築の京城郵便局前の大廣場と流石に開催當日といふので[illegible]附近の人込みは非常なものだ本町警察前の[illegible]の婦人や濃艶な少女洋服和服下駄の人雪駄靴の人などが通る本町の三丁目迄は通行者が團子重りで續いてゐる本町から明治町を經て黃金町の電車停留場に出ると多數の朝鮮人が眞白く壁立ちになつて四邊を眺め[illegible]閣の附近から僅かに電車線路を除すのみで廣場の群衆は夥しい警官の交通警戒と電車の旗振りは目の廻る程[illegible]場前の光化門通迄は兩側共蟻の群れのやうに白衣の人黑衣の人が縺れ合つて中央は絶えず人力車馬車自動車[illegible]

## 東西南北

▲世界の美人町　一度は露軍の手に[illegible]し二度と再び獨軍の手に歸しながらレンベルグは恐らく世界一の美人であらう、レンベルグ婦人の美は其[illegible]格の理想的なと其波瀾の色の淡紅[illegible]

は大谷みよ（二）と呼ぶ女子師範學校の出身で嘗て惡僧年の誘惑に陷つて[illegible]

京城府告示第十一號

鍾路警察署管内ニ於テ秋季種痘及檢痘ヲ左記日割ノ通リ施行ス依テ生後九十日以上ノ未種痘者及種痘善感後五年ヲ經過シタル者並ニ初種者ニシテ不善感ナリシ者ハ各其ノ集合區域ノ施行場所ニ就キ種痘及檢痘ヲ受クベシ

但當日雨天ノ時ハ所定最終日ノ次ニ繰下施行ス

大正四年九月四日

京城府尹　金谷　充

大正四年秋季種痘施行日割表

種痘

| 施行月日 | 施行時間 | 場所 | 集合區域 |
|---|---|---|---|
| 九月八日 | 自午前九時 至午後四時 | 内資洞七〇番地 捧川金次郎方 | 積善洞、需昌洞、都染洞、唐珠洞、西大門一丁目、西大門二丁目、光化門通 |
| 九月九日 | 仝 | 通義洞公立普通學校 | 昌成洞、通義洞、體府洞、弼雲洞、社稷洞、内資洞 |
| 九月十日 | 仝 | 梅洞公立普通學校 | 玉仁洞、樓上洞、樓下洞、通洞、淸雲洞、新橋洞、宮井洞、孝子洞 |
| 九月十一日 | 同 | 花洞私立中學校 | 三淸洞、八判洞、嘉會洞、花洞、昭格洞、諫洞、松峴洞、安國洞、桂洞 |
| 九月十三日 | 同 | 鍾路尋常小學校 | 中學洞、壽松洞、[illegible]洞、堅志洞、淸進洞、公平洞、鍾路一丁目、瑞麟洞、南大門通一丁目一番地乃至八番地百二十二番地乃至百二十七番地 |
| 九月十四日 | 同 | 慶雲洞公立普通學校 | 仁寺洞、鍾路二丁目、貫鐵洞、慶雲洞、雲泥洞、樂園洞、觀水洞、齋洞、苑洞 |
| 九月十五日 | 同 | 敦義洞長安社 | 勸農洞、臥龍洞、益善洞、敦義洞、授恩洞、鳳翼洞、鍾路三丁目、薰井洞、長沙洞 |
| 九月十六日 | 同 | 崇仁洞崇正學校 | 崇一洞、崇二洞、崇三洞、崇四洞、惠化洞、東崇洞、梨花洞 |
| 九月十七日 | 同 | 鍾路四丁目新興學校 | 蓮建洞、苑南洞、蓮池洞、仁義洞、孝悌洞、禮智洞、鍾路四丁目 |
| 九月十八日 | 同 | 鍾路六丁目東彰學校 | 鍾路五丁目、鍾路六丁目、昌信洞、崇仁洞、忠信洞 |
| 九月二十日 | 同 | 冷洞市場 | 橋南洞、冷洞、平洞、竹添町一丁目、竹添町二丁目、竹添町三丁目 |
| 九月廿一日 | 同 | 冷洞市場 | 峴底洞、杏村洞、舘洞、橋北洞、天然洞、紅把洞、松月洞、玉川洞 |

檢痘

| 施行月日 | 施行時間 | 場所 |
|---|---|---|
| 九月十七日 | 自午前九時 至午後四時 | 梅洞公立普通學校 |
| 九月二十二日 | 自午前九時 至午後四時 | 鍾路尋常小學校 |
| 九月二十五日 | 自午前九時 至午後四時 | 鍾路四丁目新興學校 |
| 九月廿八日 | 自午前九時 至午後四時 | 冷洞市場 |

園藝と挿花

（月刊）毎號一部七錢五厘　一ヶ年八拾五錢（郵稅共）

發行所　大阪市外天王寺村　花園社　振替口座大阪二八一〇二番

小兒科專門　内科　若槻醫院

京城旭町三丁目（元十全病院跡）　電話二四六二番

ドクトル メヂチーネ　若槻　寛隆

東京竹内製　ベンデング式金庫

詳細目錄送呈

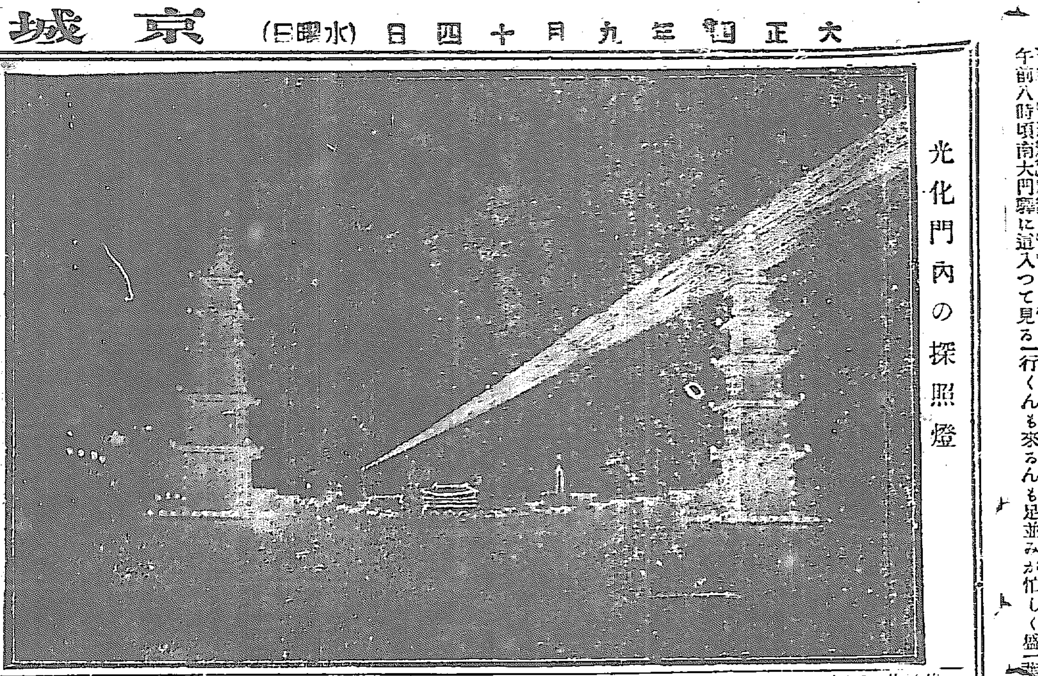
竹内製金庫朝鮮販賣店　熊平支店

京城本町二丁目　振替京城二二一番　電話六二四番

驚嘆を以て迎へられつゝある

京城では空前の催しなので市街は[illegible]球彩旗で飾られ何んとなく活氣立つ午前八時頃南大門驛に這入つて見る[illegible]歡の群衆が堵をなして埋まつてゐる行くんも來るんも足並みが忙しく盛[illegible]て見える玩具屋雜貨屋吳服屋藥店舖業書屋陶器商などは殊に趣向を凝し[illegible]てある電車で鐘路の四つ角迄進んで行くと豫て後方に取除けられた普信[illegible]出て共進[illegible]て內勤の警官のみ僅か殘つてゐた。更に鐘路の電車交叉點から共進會[illegible]つた返した賑ひであつた。

[illegible]る獨逸附の一記者の[illegible]によると今迄世界に知られなかつた[illegible]らしい▲女子師範出の惡少女 大阪[illegible]て惡辣な行爲の女頭目が檢擧された名



光化門內の探照燈

# 燦爛たる夜景

## 漢陽公園

水蒸汽の多い此頃の夜、共進會で光の巷と化した京城市中を漢陽公園の廣場から俯瞰すれば市街は白海の如く、仁王山、白岳、北漢山は島の如く、街上に縱橫無盡と輝き渡る光りは天空の星座がそのまゝ降下してこゝに聖代の政を祝福するかのやうに最も近き南大門九百の電球を基本として大平町から光化門通りの大道は恰かも天の河の流れが橫つたかのやうだその中央に高く京城日報の■カテイハクとした紅と青の光りの明滅するそれを圍む宏大なる社屋を飾りたてたるイルミネーションの大美觀は蒲飾を施した大艦の浮んだ姿はかくもあらんかと思はれる、光化門通りの入口二基の燈籠からつゞく春日燈籠の二列に爲つた光りは電燈の線で家根から家根を縫ひつゝつた光化門の大樓を中央に城壁の東西の兩角に立つ樓閣、勸政殿、慶會樓、鐵道特設館の高塔のイルミネーション、協贊會廣告塔の明滅塔及び共進會各館總てに點ぜられたイルミネーションと相對して海の魔と天國の妖怪が列を爲して踊りつ舞ひつ遊び戲るゝがやう、又その間に白光長く引いて市街の上を走る廣告塔からの探照燈は慧星が過つて地上に落ち巨人に捕つて尻尾を悶え振つて居る光芒とも云へる、時に打ち揚げらる黃、紅、青の

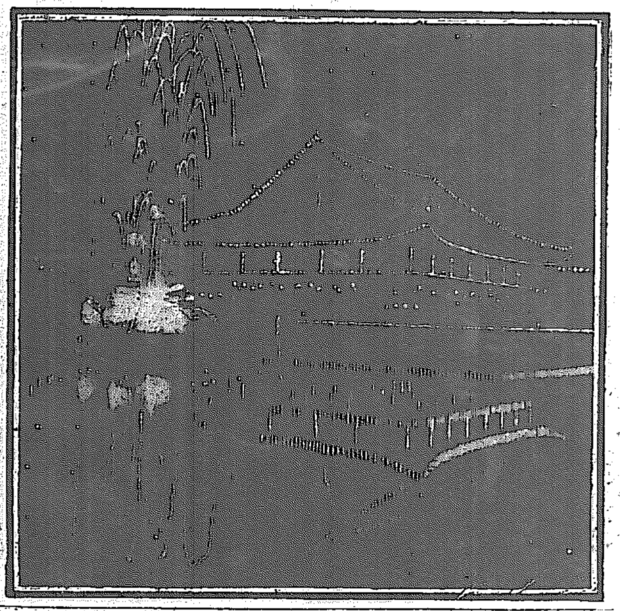
▲煙火が花と 散り、波と流れ雨と降る樣は流星の群が地上の賑盛に誘はれて地中から飛び出したものか、若し夫れ我足の立つ漢陽公園から照す探照燈の光を追ふて市中を眺めんか、只白霧に包れた白海とのみ思つた町の何處にも歡樂に蠢くるなきこの秋の夜の光眩き中を往く人、來る人、山の如く、波の如く、夜の暮れたのも、更けて行くのも忘れたやう、中にも京城日報社前に自動オーケストラを開く大山大波から、光化門通りを夜の共進會へと忙ぐ大きな流れ、それが渦を卷いて流れ込んだ協贊會場の山の樣な人波は手に取る樣に明かに見える明かに見える丈に、ほと〳〵共進會の大賑ひに驚愕讃嘆の聲を放たしめずには居られぬ

## 火の海

暑からず寒からず初秋の夜の空は殊の外靜かであつた十三日の夕頃、漢陽公園から下界を照らす

▲探照燈の輝き 初めた頃ほひ目拔きの本町通の夜の賑ひを見物に出掛けた道狹い此通には道路には何んの裝飾も出來ない軒の上に一統「共進會」と染め出した提灯は家並みに點いて居る殊に十間每に道路の上の空中に懸つた百燭燈は爛々として輝き大小の商店は競ふて光の裝飾に苦心した此町筋の明さは

△宛然晝の如う 夜の共進會に行く人歸へる人、夫婦連れ小供連れさては地方の團體觀覽者が三々伍々隊を爲して人通りの多い其賑かさを見物に來るので傍見をしては步れない本町をズツと通り拔けると明治町にこゝは夜の都だ、各樓は粹を凝した裝飾光を付け廓の中央の一棟の空地には舞臺が出來て藝人芝居が催されて居るので宵の口から非常な賑ひ、絃歌の聲はこゝ彼所から流れて各樓共相當に賑はつたらしい



慶會樓前のイルミネーション

## 大探照燈

### 協贊會夜の賑ひ

名譽の[illegible]文字共催に火の海と化した光化門通りの人波を潜り拔けて迎秋門から入つたのは十三日の夜八時頃であつた雨氣はないがどんよりと曇つて薄霧の籠つた中につ立つて居る東亞の廣告塔の絶頂にる探照燈は、射る樣に下界を照らして眩い許り、演藝館、勸政殿、鐵道館側に設へられた裝飾光此一面は晝を欺く許り、夜の演藝館は活寫眞、一寸覗いて見ると泰西名花より[illegible]の映寫最中で各等共雜の地もない大入り、こゝを出て右の方に行くと今日から初た素人角力が又大人氣で入つて見る事も出來ない協贊會事務所の橫の屋外で敎育活動寫眞が出來て居る無料だから其邊一帶は身動も出來ないと云ふ賑ひ逃して寶店町を通つて興行物の開場地に出た寶店町の突き當りの娘曲馬の前は人山が築かれて進むことも出來ない十八九の肉付きの好い娘が四五人許りと

▽可愛らしい 小供が馬に乘つて舞臺に出て行く姿が表から見えるのだから外の見物人が却々に多いがくの事こゝを拔けて少し行くとドンチャンと七八つもある

▽興行の小屋 から各種多樣の音樂の響き入り亂れて彩しく騷々しい中にも子供連れの觀客が多く何處も滿員の盛況蓄音器は不思議館流石に見物客へ仕掛けてある人形に電氣で踊らせて居る、見せて居る許りでなく敎育材料にもなる矢野動物園に入つて見た、入つた所に獅子が居た豹が居た檻十幾つを擁つて其他大小取混ぜて四五十種々の動物が檻の中に入れられて居る時虎を怒らすのでその吠聲が場內に響いて物凄い、お隣は活動寫眞で共物凄い、寫眞の方には朝鮮人の物で充滿、其のお隣迷路館は幾百とも知れぬ鏡を立て廻はしてあるから四方八方に自分の姿が寫つて路が見當が付かない

からの見物人には是非共案內せねばならぬ一ツであると思つた、其處で興行の見物を終まして慶會樓の方に出ると恰も煙花一發頭の上で大きな紫陽花が咲いた、十時を過ぎても未だ却々の賑ひであつたが締切り近くなつたので十時を機に退場した。

□朝鮮貴婦人 が四五名其中頃で路を迷つて歸へるにも歸られず哀號を連發して閉口して居たのは面白くも氣の毒でもあつた、ジオラマ館丈はまだ工事中で開場して居ないがそのお隣りの朝鮮演劇場は朝鮮俳優一座の例の一流の八釜敷い芝居朝鮮に居ては珍らしくもないが內地

來賓休憩所の李完用伯、權重顯子

# 立派な家庭學校です

## 子供の養育方針を改めます

### 和氣靄然たる家庭の內房を見ました

といふ李完用伯＝李容植子夫人＝李夏榮子夫人＝兵庫滿鮮視察團の來場＝三日目は開會以來の大賑ひでした

十三日の家庭博覽會は開會以來始めての盛況で團體の見物こそなかつたが家族を擧げて來觀される方が非常に多く中にも子爵李容植子の夫人が一家族二十人を引連れて來られたのが最も注意を惹いた、夫は一號館から一々細かに觀てゆくうちに五號館の子供の背負ひ方を見てハタと

▲膝を打ち 記者を顧みて『子供を背負ふのは吾々東洋人の姿勢を惡くする第一の原因と思ひ決して子守に背負はせなかつたのですが子供を負ふのは樂でもあり便利でもあるので女中などは背負ひたがるので實は困つてゐましたが今此の背負ひ方を拜見してその最も衞生的であり子供のために樂さうであるのを見て非常に好い智識を得ました、そこで私も今日まで固持して來た子供を負はせない主義を今日限り斷然改めて今後此の方法によつて孫なりその他の子供なりを育てたいと思ひます』と居られたが次ぎの看護室の女中も入れず

▲母親自身 が看護してゐるのを見て『朝鮮の家庭では病人が出來ると家族全部が寄つて立騷ぐので病勢は增すばかり、洵によくないがこれを見て歸つた人は必らず改めるでせう』と言ひ更に『これ丈の設備をするには澤山の經費も要り時日も要つたらうと思つたのにその敏速なのには驚きました』と家庭博開催までの經過を聽いて感心する、そして『私は是非最う一度親戚の者でまだ見ない者があつたら連れて觀に來ませう』と悉く喜んで歸つて行つた、次ぎに李夏榮子夫人林氏夫人が連立つて來たが、朝鮮の家庭を見て『朝鮮の家庭と言へば從來は別に外房に

▲女は內房 に各別居するを常としその間に隔てがあつて些しも夫婦乃至親子間の親しみといふものがなかつたが今此の家庭を見れば和氣藹然たるものがあります、閑の時には成るべく一緒に居る樣にすれば自然愛情も起り子供を養育する上に於て聯絡がとれて宜しいと思ひます』と言ひ『新らしい人にも古い孝行を敎へよといふのは洵に結構な事で近頃の若い者は文明になつたからといつては親を大切にしないものにとつていゝ敎訓です』と言つた、次ぎは李完用伯が來た、伯は朝鮮の家庭に關しては常にその改善に注意されて居るので

▲殊に熱心 に觀て廻つたが來賓休憩所に入ると直ぐに『實に好い朝鮮人の家庭の改良すべき點は非常に多いが先づ何より先に著手しなければならぬのは衞生だ、朝鮮の家庭程衞生思想に乏しいものは少ない、然るに今觀た中模範的の臺所が二つあつたが衞生といふ事に注意を拂ひ完全に出來てゐる、その他各室の設計にしても衞生といふ事に重きを置いた好個の家庭學校といふ事が出來る、生きた敎訓を得たと思ふ、私は常に吾々の生活は日常の衞生が中心になつてゐると思つてゐる、であるから衞生の觀念は

▲小供の時 から注ぎ込まねば可けない、此の意味に於て衞生思想を養ふ家庭學校に學ばせる考へで家族を皆連れて來て詳しい說明も聽き私自身も敎へて遣るつもりである、家庭博が家庭の人に與へた効果は或る點に於いて共進會以上であると云ふ事が出來る』と大に語る所へ來合せてゐた權重顯子爵も合槌を打つて『惜しい事に共進會開會中で澤山の人が來られないだらうがこれが別の日であつたらすべての人が所謂生きた敎訓を二つ得られる事が出來たらう』といつた、そのうち關屋學務局長、山形大佐、白耳義總領事ブリボシヤ氏などが來られたところへ服部知事、村野山人氏、鹿島神戶市長、瀧川貴族院議員等外十數名の

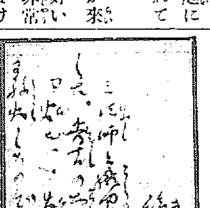
▲兵庫滿鮮 視察團が來場、一行は何れも熱心に各館を巡覽したが服部知事は此の日李容植子の夫人連が觀に來たといふ事を聽き、昨今の朝鮮人に就いて聽き、その他種々現時に於る朝鮮の社會狀態を阿部社長から聽いて從來の觀察に誤まりのあつた事を知つた、家庭博によつて從來兎角籠居勝であつた朝鮮上流家庭の婦人を誘ひ出したのはその功績大なるものであると共に大盛況だつた第三日目は閉場した

## 浮浪者正業に就く

[illegible]

## 福田琴月氏卒去

福田琴月氏は十二日夜急病にて卒去せり（東京特電）



琴月氏の筆蹟

中央文壇に於て琴月或は番衆浪人と號し家庭小說家として又たは歷史小說家として名を湖江に馳せ殊に本紙朝刊四面に於て讀者より多大の喝采を博しつゝある「騙の旗風」の執筆者福田琴月氏は十二日夜突然卒去の報あり尙ほ春秋に富みたるに悼べし

## 萬引捕縛さる

山口縣生れ京城本町四丁目居住綿木まち（三二）は一兩日前共進會開催と共に多數の入出の中を潜り廻り本町通を徘徊し居りしが折柄同町を通り蒐つた高陽警察署の某刑事が同人の擧動不審なるに目星をつけ引つ捕へて取調べたる結果同人は萬引を常業となし居り本町二丁目丸一吳服店を初め丸岩山口圓城其他の諸店にて十數回萬引したることを自白したりと

## 芝居と遊藝

▲壽館の娘義太夫 東京娘義太夫竹本燕糸は燕吉、小燕、燕之助、梅香、燕吉といふ恐ろしい燕揃ひで近く乘込十五日より壽館に開演

# 京日案內


◎番外 一回前金二十錢（每割引）

◎記念集合寫眞撮影 共進會 迅速調製 定價卅錢 本町二丁目總督府御用 尾旅館前 金田寫眞館 529

◎入齒 技術誠確 共進會々 明治町特別割引仕候 京城本町三丁目 商業銀行支店入 永井 53

能筆 筆耕二名至急入用 希望者は履歷書携帶本人直接來談 京城旭町一丁目 電話二參九五番 東西藥房 515

御古着古道具 御拂品不拘何品に由受候 一報次第直に參上高價に買受候 京城御成町四番地 廣瀨壽市 485

古本は野村に限る 買入讀賣御報參上（電二六三六番） 京城本町一丁目 明治町口 野村書店 457

◎はねつぎ（うちみくじき等） 一切の治療御依賴に應す 明治町 柔術道場 452

共進會出入門 御指定撮影迅速調製 無料金卅錢 京城寫眞館 南大門本館 永樂町分館 489

賣地 京城南大門通商家屋の敷地凡そ廿九坪望の御方は 黃金町壹丁目 電話一〇一五 喜多金光堂 447

募集 女子有給從事員十名採用 高等小學卒業程度年齡不問 報國公債株式會社總代理店 京城若草町二三 電話二二六三番 西村商會 430

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 入電話二二八三番 國江商會 425

◎古着古道具類一般 右相當價格を以て確實に買受候 旭町一ノ廿一 電話一八一二 クジ谷商店 509

◎健胃整腸散◎下り腹一切の良劑 京城明治町一丁目 小川溫知堂 521

◎入齒 吉崎文作 京城明治町一丁目五七 祝始政五年一般觀覽人に對し大割引 516

◎武術刀劍柔道衣 文武官用刀一般製作修理古刀買賣 京城明治町二ノ一 電取次四二七 堀兼刀劍店 504

マッサージ 產婆 三浦小糸 京城本町二丁目 電話一四四〇番 522

店員入用 吳服太物商に經驗ある者年齡十五歲以上廿二歲迄の身元保證人ある者希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城本町一丁目 ますや吳服店 525

恩給年金類立替 京城若草町壹丁目一〇六 井出邸內 電話二二六三番 西村商會 427

諸鳥羽製品 弓矢一式 附屬 劍製標本類 京城本町三丁目四二 早瀨商店 494

◎貴金屬美術品 指環眼鏡 吉川光堂 京城本町一丁目明治町入 電話一五二一

◎普通 一回前金三十錢（每割引） 飲食店 道具附きのまゝ讓り渡し 京日案內係へ 535

◎特賣 期 無鶏、安全器 附屬品悉皆廿一割 仁川龍里二三八ノ六 山崎 535

◎地方賣捌店募集 月收八十圓以上確實 東京淺草區高原町 御即位式記念寫眞帖 販賣部 533

◎新聞配達人 事務員 五名採用 年齡十五以上希望者は本人來談 明治町 日韓印刷株式會社 532

◎古物賣買 一般諸道具高價買入御一報次第參上仕候 御成町 黃金町二ノ四 電話二四三 宮商店 531

◎京城新聞郵便局南 日本建築請負 淺田組 龍山印刷局 第二 531

◎自給 外交員採用 希望者は履歷書携帶本人來談最も高尚の永續事業 朝鮮支部 511

◎バイオリン、マンドリン 其他樂器買入 不用の御方は買入ます御一報下さい 本町四丁目三一 杉野樂器店 528,507



新刊書御案內

◎最近支那と滿鮮 坂本正幸 一、二〇
◎藝者美學 後藤隆彥 一、〇〇
◎現代と道德 吉田熊次 一、五〇
◎日蓮大士言行錄 足立栗園 一、三〇
◎家庭の衞生 村井弦齋 一、二〇
◎美容術 細田、三木 六五
◎栗山大膳 福本日南 一、六〇
◎薩摩義士錄 小西東可 一、〇〇
◎閑寂定石講話 鈴木鐵次郎 五〇
◎禪學辭典 神保安藤 特三、〇〇
◎龍口法難論 田中智學 三〇
◎詩集沙羅の木 林太郎 一、〇〇
◎たのもしき婦人 海上龍子 六〇
◎謠び樣二百十番 齋藤秀之助 一、八〇
◎世界手鑑 伊東貞牧 特二、〇〇
◎田沼及傷 前田伯山 四五
◎人性の科學的研究 松の里人 九五
◎朝鮮語新會話 西村眞太郎 特七〇
◎公文用字例 江原善槌 特八〇

京城本町電話二〇八六番振替京城二五七三番 大阪屋號書店

釀造元 山梨縣 宮崎商店 朝鮮發賣元 京城西小門通 弘昌商會 電話二七九七番

宮內省 陸海軍 帝國大學 醫科大學 總督府 諸官衙病院 御用 純粹國產 大黑天印甲斐產葡萄酒

土木工事用鶴嘴柄各種 各鐵工場用柄類各種 陸海軍用柄類其他 挽製材品一切 農具用柄類各種 栽培用農具其他各種 御注文に應ず 弊店京城博覽會に陳列致居候間御一覽被下度候

板鍬 擔棒 柄類製造元 廣島市天滿町 山根商店 振替口座大阪一五九〇四番

# 瓢の旗風 (551)

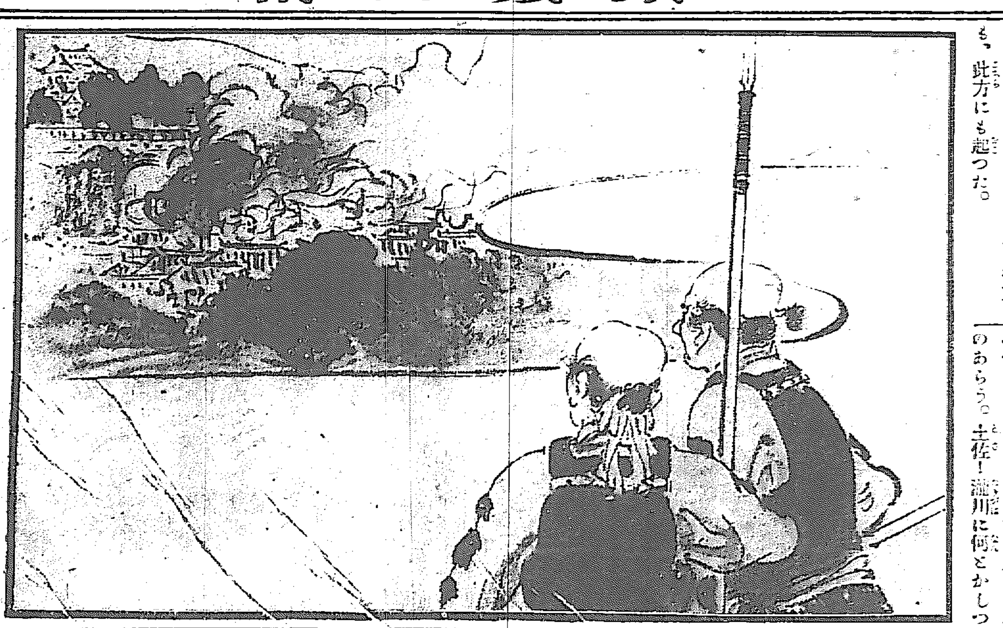
番衆浪人 / 酒井牛峰畫

## 論策(十八)

三法師と織田信雄と云ふ、主筋を看板に廻した、秀吉の大軍は安土に向つた。

『火だッ、火だッ。』其着陣の夜に、秀吉軍は民家に放火したので、炎々と燃え立つ火影。

『秀吉來……秀吉來……』と云ふ、一種の恐怖を帯びた聲々が、彼方にも、此方にも起つた。



『秀吉來たか、エ、何程の事……』と信孝は、少しも氣に留めない。泰然として居た。

其夜は明けた、翌日は別に攻寄せる様な氣色も無い、夜に入ると。

『火だッ、火だッ』昨夜は東の方に上つたのだ、今日は西の方、南の方と立騰る。其翌夜も其翌々夜も、異つた方面に更に火の手が上る、哄と擧げる哨賊の聲。

『猿め、悪戯ばかりし居る、越前の使者は何とした！。勢州の使者は。』口では嘲笑ふものゝ、毎夜の脅かしに信孝は苛ち立つた。

『殿！』と手を支へたのは國分土佐守。

『何夜の火の手、殿は、何と思されまするか』

『エイ、あれは筑前奴が戯れ、予を脅かすぢや。』

『イヤ。御せとも御坐らぬ、あれは筑前、偏に殿に御旗を思ひ止まらせ參らさうと』

『黙れッ』と信孝は一喝して。

『何があの猿奴、予に對し然せる心のあらう。土佐！瀧川に何とかしつろ?』

『瀧川殿は今更申すまでも無う。殿の舅御に渡らせらるゝ。されば、殿の危急を聞かれて、直ちに出陣に御坐つたが……』

『來たか……』

『さ、無念ながら、途中にて、勝入(池田信輝)が兵に支へられ、いまだ著到とは御坐り申さぬ。まつた、越前の返事、それいまだ相分り申さぬが、何がさて殿も知ろしめす、途中には木芽峠の嶮、加ふるに千丈の雪に、とてもが、出陣なんど……』

『うぬ、誰も彼も、此信孝を何とか思ふ、それは頼まぬ。明日な、切つて出い……』

『ナ、何と御意……』

『信孝親から、兵の引いて、あの猿奴に思ひ知らせて……』

『これは殿には物にや狂はせたまふか。千鈞の御身に輕々しう。』

『止むるナッ。』

『土佐！一命を投出いても、御止め申し上げまする……』

『奇怪……』と猛り立つ其目前へ。

『暫らく……』と飛び込んで來たのは同じ重臣の峰信濃守。

『信濃か其方や此信孝の出陣を、よもや止むる卑怯者ではあるまいナ。』

『これは以ての外の事、殿は恐れ多くも、贈大相國様の御子息と生れさせたまひし高貴の御身とありながら、雑兵共の手に御犬死のなしたまふか。』

『おゝ、おのれまで……』と信孝はパリ〳〵と齒を噛んで。

『さらばおのれ等、此信孝に、自識のせよとかッ。』

『何しに以て……』と土佐は膝を進めて。

『此上は暫し御無念を忍ばせて、御和睦を……』

『エイ、痴けたッ。』と信孝は狂氣の如く猛り立つた。

# 勤倹貯蓄は奥様の心の持ちやう一つである (下)

紅蓮女史(投)

歳月不待人……と云ふ事がある、昨日の紅顔も今日の白髪を思ふと、そゞろに涙ぐまれる事です、社會に有益になる事なら御用聞も、いつまで行つて居ても宜しいが、奥様の御得意に高い品を押し附けて居る今の御用聞即ち店員は、無益のものです否不利益なものです。此朝鮮に於ける奥様と云ふものゝ程、威張りたがるものはないのです、奥様風を氣取つて、シャナラ〳〵と散歩の様は面白いのです、見ともないのです。

奥様は縮緬の羽織で子供はもすの著物、亭主即ち旦那様は亦一段と劣つた木綿著物と來ると、殖民地の氣質がよく解ります、奥様だけ縮緬の著物を著て奥様風を氣取つても、可愛い子供のもすの著物を見ては、且那の装束の貧しい様を見ては、不親切な家庭と云ふ事が知れるのです、情合のない虚榮心の滿ちた家庭は、學ふものではありません。

奥様ばかり著飾つて何んで、社會に立派に見えませうぞ、物には總べて相應と云ふ事がある、釣合を取る必要があるのであります、奥様が縮緬を著るならば、且那にも子供にも立派な著物を附ける義務があるではありませんか。

サイノロジイの旦那様を持つた家庭は皆一目見て直ぐ分るのです、私はそんな家庭を打破したいのです、此朝鮮には餘程多い事と思つて居ます、慨嘆に絶えないのであります、先日も或高等官の内儀であります、私は或長官の奥様と同じ様な話を話題に上せて論じましたのでありますが、長官の奥様も慨歎なされまして一日も早く悪衒の家庭を打破する事を、主張なされまして、私に皆くやうに、そして此朝鮮の虚榮に走る皆様の家庭、經濟に及ぼして、有益な警醒し得る自信ある筆を以て、此京城日報の家庭附錄の餘白に掲げて、奥様の奥様たる貫錄を上げる事を欲したのであります、其貫錄を上げる事を、奥様に願ふのです、生活費が三割は減じられる、自分自身で品物に行きなされ、上等の品が價で買へる、隣の奥様が知人の奥様と、ペチヤクチヤ喋つて居る間に、専門の店へ買ひに行けるのである、悠う云ふ事なのである。

朝鮮も是れからは、さう出張旅費も多くは取れなくなりさうです、歴戰も大分節約せられる事になりますのです。

○○○○○○内地と變りがなくなるのであるから、家庭を整理する處の奥様の覺悟が必要になつて來たのである。

不眞面目な今迄の家庭の遣り口を改めて藏きたいのです、今迄のやうでは巧みな生活費の遣繰に過ぎない處が多いと斷定します、眞面目な家庭に生れた眞面目な子供を、養成する必要がともなうのでございます。私の見受ける處では、お子さんの三人もある方が、帶は紅い、顔は白粉だらけでは、何んと云つても眞面目ではありません、よくまあ旦那様が兇して置くと、餘計な心配を、いつも私等は蔭でして居るのです、どうか其様な奥様ばかりの朝鮮では、ないでせうから、なるだけ出來得るだけ、不眞面目な處は、惜しげもなく棄て、奥様の貫錄を發揮して貰ひたい。

○○○○○○○○共進會に就て見物に參らるゝ、父兄や知人やに不眞面目な處を見せたくないのです、私は祖國の人に、日本の民よ小さくも君に仕ふる勤めぞと、間接に感ぜさせるやうに朝鮮の生活を見せて遣りたいのです(完)

昨紙本稿に「四面文殿」の柱を立てしは編者の誤につき正誤す


德富蘆花著 青蘆集 二十四版
定價金二十五錢 郵税本社負擔
目次 ○五分時の記 ○初の落葉 ○除夜 ○慈悲心鳥 ○甲州 ○伊勢 ……
△東京日々新聞本書を評して曰く一種の文を讀む毎に必ず一種の氣を感ずるは蘆花氏の文を讀むの感なり是れ其想の高潔にして其調の優雅なるに因らずんばあらず、特に此般小品文筆力最も勝る
京城日報社代理部

入院隨意 (普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目「鈴木醫院跡」
小林醫院
醫學士 小林千壽
電話六九二番

電氣學校 生徒募集
東京市神田區錦町三丁目
校内生入學申込九月末日限
校外生講習生隨時入學
規則書無料送付郵券不要

各國時計 自轉車 蓄音機 直輸入 卸商
京城黄金町一丁目百八十一番地
喜多金光堂
(電話一〇五番) 振替口座京城七一八二番

かつけに 尾崎糠精
村井弦齋先生命名實驗證明
販賣元 東京中澁谷町 尾崎兄弟商會
全國藥店に有

京城黄金町二丁目 呉服店
丸一綿部
電話二三三一番 振替三六五
◎仕立上蒲團取揃有之候
◎綿は只今最低相場御仕入に好時機ご存じ候
(定價表御一報次第送呈)

廣島名産 山まゆ織
廣島市平田屋町(電話一六一五番) ㊉山脇喜久一
見本御申越次第無代送呈 東京振替口座一五六六番

婦人科 産科 入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院
電話一二三四〇番

日本名物
今日の貴婦人界は
クラブ白粉の
淑女を中心として動きつゝあり

●毛布の投賣に就て
安價にして信用あり責任ある商店は大阪市東區上本町九丁目帝國商會が最も確實なり現今同商會は鼠毛布二枚ツヽキ一組で一圓九十錢甲二圓七十錢特三圓七十錢白毛布二枚ツヽキ一組甲二圓九十錢特四圓三十錢と云ふ破格の大廉價にて投賣を始めたるが何分前代未曾有の安價と品質の善良とにて大盛況を博しつゝあり因に同商會は地方の顧客に特に便利を計り希望者は(ハガキ)にて同商會へ申込ば代金引換小包五十五錢にて送附し尚同商會は信用と責任を重んじ買取後萬一意に適せざる時は無割引他品交換又は返金する由なれば地方の顧客は安心して注文するを得可し


## 日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行
高砂丸 九月十九日 正午出帆
三河丸 十月 日 正午出帆
相模丸 九月廿八日 正午出帆
仁川港岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

## 朝鮮郵船

京城南大門通 松原運送店(電話長二二七)
○鐵道及社外船と商客連帶輸送の便あり、支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候

門司より釜山各港寄港雄基間 但△印は元山釜山間直航する
全羅丸 九月廿五日
△京畿丸 九月十五日
△黄海丸 九月十九日
咸鏡丸 九月廿九日 釜山發

元山より各港經由雄基行
昌平丸 九月 廿日 元山發
慶城丸 九月十六日 元山發

城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司
竹忠丸 九月二十日 元山發
清丸 九月 日 元山發

又は長崎延長 北久味、五里浦行
永興丸 毎月廿八回 元山發

甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
嘉島丸 九月十八日 釜山發

長生浦、方魚津寄港
江陵丸 毎 日 釜山(浦項)發
錢陽丸

長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行
三浦丸 九月十八日 釜山發

## 尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸大阪行
秀吉丸 九月十九日後四時出帆
若代丸 九月 日後四時出帆
神代丸 九月 日後四時出帆
大有丸 九月十七日後四時出帆
○群山、大阪行
土海丸 日後四時出帆
仁川港岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

## 汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 九月十四日後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 九月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 九月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 九月十六日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 九月 日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 九月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大貝丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

## 大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路(遠洋航路を除く)御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

海州丸 巨濟丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 九月十五日 木浦發 (各港經由濟州島行月八回)
公州丸 九月 日 木浦發 (南多島海列島行月三回)
信丸 九月十九日 仁川發 (海州仙各港經由、鎭南浦行)
江原丸 九月十四日 仁川發 (青島直行、大連、芝罘行)
麗水丸 九月二十日
初鷹丸 九月十四日 仁川發 (各港經由木浦行)
全南州丸 毎日午前 仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)
平安丸 九月十四日 若松發 / 九月廿二日 群山發 (往航大黒山、木浦、群山行 復航門司、若松行)

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
漳州丸 九月廿六日
宮島丸 九月十六日
須磨丸 九月十九日
漢城丸 九月廿三日 午後五時出帆

○木浦、釜山、長崎行(△は巨文島の浦に寄港)
安東丸 九月廿四日
△天智丸 九月十九日 午後二時出帆

○鎭南浦、大連行
安東丸 九月廿日
天智丸 九月十四日 午後二時出帆

○鎭南浦關門神戸大阪行
漳州丸 九月十三日 正午五時出帆

○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 九月十八日
チヨイサン丸 九月廿七日 午後四時出帆

○大連直行
△千珠丸 九月十四日
チヨイサン丸 九月廿二日 正午出帆

○元山、清津、浦潮行(釜山出帆) ▲は城津西湖津に寄港
宮島丸 九月廿七日
神宮丸 九月十七日
▲城津丸 九月廿二日 午後九時出帆

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
臺東丸 九月 日
基隆丸 九月廿二日 午前十時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船被下度候
○×印は一等客御斷り○印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二一番 二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

## 阿波共同汽船仁川出帆

第十共同丸 九月十五日後七時入港 九月十七日前九時出港 芝罘、大連行
朝鮮鐵道主要驛にて荷客通し輸送御取扱仕候 大連にて青島行定期船に接續荷客共直航と同額運賃にて通し輸送取扱可仕候

第二阪鶴丸 (元山出帆) 九月 日 後九時出港 / 九月 日 出港 城津、清津、浦鹽行(元山出帆)

第三共同丸 九月二十日前八時出帆 西湖津沿岸各港を經て雄基行

阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城南大門通(電話二二六八、二〇一七) 河村運送店

## 大阪株式特電

十三日後場

## 下關期米

十三日後場
九月限 十月限 十一月限
一〇八、六〇 一〇九、二〇 一一〇、〇〇
一〇七、九〇 一〇九、一〇 一〇九、八〇

平均値段 一節 二節 三節